

山崎範夫の 電子ミシン

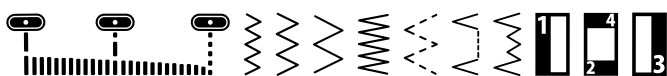
取扱説明書

型式 **AG-005**

このミシンの特長

- 職業用モーターと同じ 90W のパワフルモーター搭載。
- 押え高さ 12 ミリまで上がるのでデニム 12 枚でも可能。
- BOX 送り機構と、送り歯 8 枚でしっかりと送ります。
- 直線縫い目が綺麗な針棒固定機能搭載。
- LED ランプを搭載で、ランプの交換不要。
- 針停止位置は上下選択式。

このミシンで縫える模様



安全上のご注意
(はじめにお読みください)

2 ページ ～ 5 ページ

ミシンの各部のなまえ

6 ページ ～ 8 ページ

縫うための準備

9 ページ ～ 21 ページ

縫ってみる
(基本編、実用編)

22 ページ ～ 31 ページ

お手入れと困ったときは

31 ページ ～ 34 ページ

もくじ	1
安全上のご注意	2～4
安全にお使いいただくために	2
警告	3
注意	4
使用上のご注意	5
守っていただきたいこと	5
各部のなまえ	6～8
付属品	6
補助テーブルのはずしかた	6
ミシン本体〈前面〉	7
針と針板周辺部品	7
ミシン本体〈背面〉	8
釜カバーの開きかた	8
縫うための準備	9～21
ミシンの設置	9
電源コード接続の前に	9
ミシンの動かしかた	10
針と糸、布の関係	11
正しい針の選びかた	11
針のとりかえかた	12
押えのはずしかた	12
押えの取り付けかた	13
針停止位置の切り替えかた	13
ボビンケースの取り出しかた	14
下糸の巻きかた	15
ボビンケースにボビンをセットする	16
ボビンケースを釜にいれる	16
上糸のかけかた	17～18
針穴糸通し器の使いかた	19～20
下糸を引き出す	20
模様の選びかた	21
フリーアームの使いかた	21

縫ってみる 基本編	22～23
ためし縫い	22
糸調子の確認と合わせかた	23
縫ってみる 実用編	24～31
直線縫い	24
返し縫い	24
縫い方向のかえかた	25
段縫い	25
厚地の縫い始め	25
ジグザグ縫い	26
点線ジグザグ縫い	27
まつり縫い（ブラインドステッチ）	28
ボタンホールかがり	29～31
お手入れ	31～32
釜の掃除と注油	31
送り歯の掃除	32
困ったときは	33～34
別売りフットコントローラーの使いかた	35
純正指定部品のご案内	36～37
ミシンの仕様	37
サービス工場のご案内	37
修理サービス要領	38
保証書	裏表紙

●安全にお使いいただくために

ご使用の前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にご使用ください。
この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。以下の表示を無視して誤った取り扱いをすることにより生じる内容を、次のように区分しています。

以下の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った使い方をすると、人がケガをしたり財産に損害を生じるおそれがある内容を示しています。

この説明書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

危険性を促す記号		
		
火災の原因になります	感電の危険性があります	ケガの危険性があります
行為を「禁止」する記号		
		
してはいけないこと	分解禁止	
行為を「指示」する記号		
		
必ずすること	電源プラグをコンセントから抜く	

- このミシンは日本国内向け家庭用です。 For use in JAPAN only.

国外での使用および職業用としてご使用になった場合の保証はいたしかねます。

- 仕様および外観は品質改善のため、予告なく変更することがあることを、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製をすることは禁じられておりますのでご了承ください。



警告



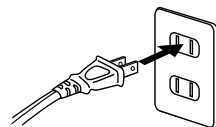
死亡、火災、感電のおそれがあります。



火災・感電の原因となります。

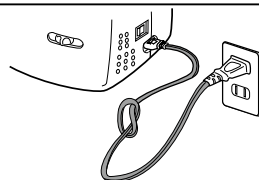
一般家庭用電源 AC100V の電源以外では絶対に使用しないでください。

* 同梱の電源コードは、このミシン以外に使用しないでください。



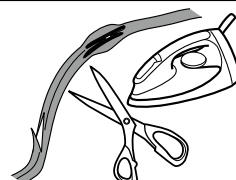
AC100V 50/60Hz

電源コードを傷つけたり、折り曲げ、結び、ねじれ、加工はしないでください。

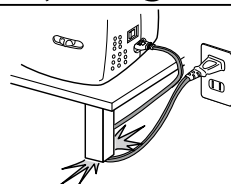


傷ついたり、溶けて線がむき出しになった電源コードは使わないでください。

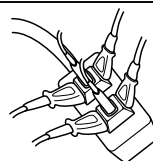
* コードが傷ついた場合は販売店・サービスセンターにて純正の電源コードをお買い求めください。



電源コードに机やイスの脚など、重いものを載せないでください。

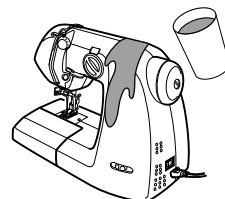


タコ足配線はしないでください。

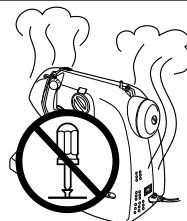


火災・感電の原因となります。
販売店・サービスセンターに
ご連絡ください。

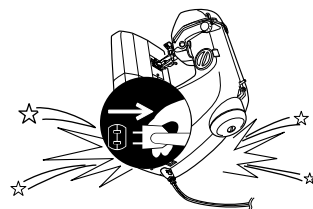
ミシンの中に水や異物が入ったときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。



発煙や異臭、異音などの異常が発生したら電源を切り、電源プラグを抜いてください。



落としたり正常に作動しないときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。



 注意	   ケガや財産に損害を生じるおそれがあります。
  	電源コードを引き抜くときは電源プラグを持ってください。 コードの断線や接触不良による感電の原因になります。
  	電源コードはミシンに巻きつけないでください。 コードの断線や接触不良による感電の原因になります。
 	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因になります。
 	ミシンを不安定な場所に置かないでください。
	ミシンの動作中に、はずみ車・針・釜・天びんに手を触れないでください。 手や指が挟まる、針が刺さるなどケガの原因になります。
	曲った針は使わないでください。 針が折れ、ケガの原因になります。
	釜カバーを開いたままミシンを操作しないでください。 手や指が挟まる、針が刺さるなどケガの原因になります。
	縫製中に布を無理に引っばったり押ししたりしないでください。 手や指が挟まる、針が刺さるなどケガの原因になります。
  	ミシンを使用しないときは、電源プラグを抜いてください 絶縁劣化、漏電などによる火災の原因になるおそれがあります。
	ミシンから離れたり使用を中断するときは、電源プラグを抜いてください。 火災の原因になるおそれがあります。
 	幼児の手が届かない場所に保管してください。 針や押えなどの突起でケガの原因になるおそれがあります。
	糸をセットするときやミシンの手入れを行うときは電源スイッチを「切」にしてください。 作業途中にミシンが動くおそれがありケガの原因となります。
	ミシンの操作中はミシンから目を離さないでください。
	交換した針を放置しないでください。
	お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときには特に安全に注意し、お子様から目を離さないでください。
	針・押え・アタッチメントを交換するときは、電源スイッチを「切」にしてください。 作業途中にミシンが動くおそれがありケガの原因となります。
	屋外や直射日光のあたる場所、高温多湿な環境、寒い場所での使用は避けてください。 部品の劣化や変形、正常に作動しないことがあります。

●守っていただきたいこと

長くお使いいただくために、次のことを守ってください。

業務用や縫製以外の目的には、ご使用にならないでください。

極度の部品摩耗や破損につながります。



注意



ケガやミシンの故障が発生するおそれがあります。

■曲がった針を使わない

曲がった針を使うと、次のようなケガや部品の損傷につながります。

- ・針穴に刺さらず、折れた針が飛びケガをするおそれがあります。
- ・押えや針板に傷を付け、糸調子が合わなくなります。

■このミシンで縫えないもの

つぎのものはこのミシンでは縫えません。針やモーターなどに過度の負担をかけ、故障の原因になるだけでなく、針折れなどの原因にもなります。

- ・木、プラスチック、金属などの板
- ・ぬれた布、粗い網（漁網など）
- ・はずみ車を手で回しても、針が刺さりにくい布
- ・厚さ 10 mm 以上の布

■保管時の結露（つゆつき）について

寒いところから、暖かい室内に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋では、本体の表面や内部に結露（つゆつき）が起こることがあります。

結露がなくなるまで、電源を入れずにお待ちください。

そのままお使いになると感電や誤作動・故障の原因になります。

■直射日光・熱気をさける

直射日光が当たる場所や熱器具の近くには置かないでください。プラスチックのカバー部分や内部部品に変色や部品劣化などの悪い影響を与えますのでご注意ください。

■糸がらみのとき、糸・布をひっぱらない

針や部品を破損します。

絡んだときは針板をはずし、針糸と針板裏側の糸を切ると布がはずれます。

■ミシン表面のお手入れ

プラスチック部分の汚れがひどいときは、中性洗剤をぬるま湯に薄め、布に浸してかたく絞り、乾いた布で仕上げてください。

ベンジン・シンナー・ワックスなどで拭かないでください。

■説明書の指定以外は分解・改造をしない

ネジ類の締め忘れやゆるみにより、針折れや部品の破損につながります。

■長期間で使用にならないとき

長期間で使用にならないと、油の乾燥・固着などで機能に支障をきたす場合があります。時々、ミシンを動かしてください。油の固着を防ぐことができます。

各部のなまえ



注意

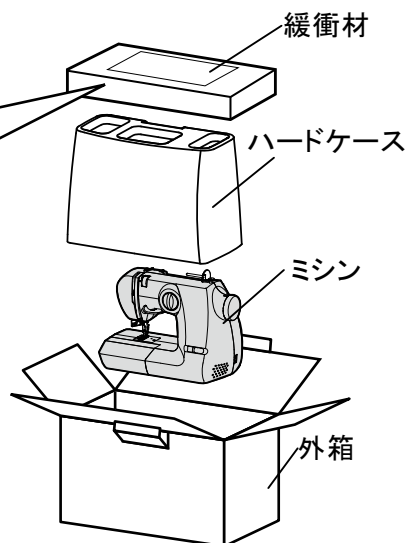
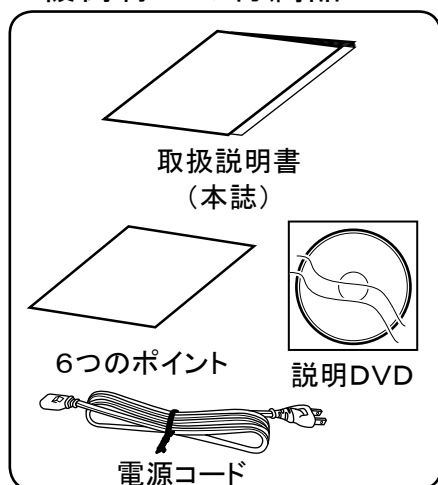
同梱している付属部品でお子様がケガをするおそれがあります。誤って油を飲んだ際には「鉱物油」である事を伝えて医師の治療をお受けください。

● 付属品

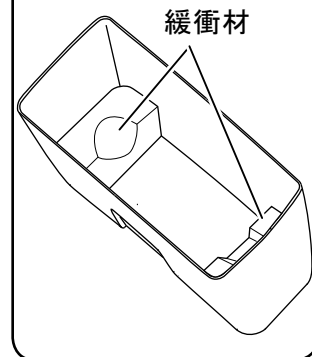
緩衝材と、ミシンの補助テーブルの中に付属品が入っています。

長期間の保管や修理などの輸送時に必要になりますので、外箱と緩衝材は保存してください。

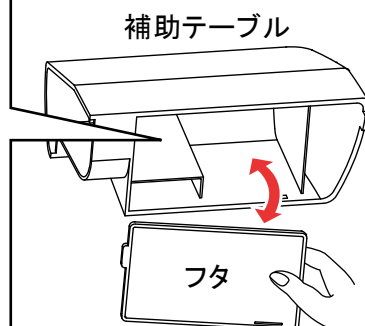
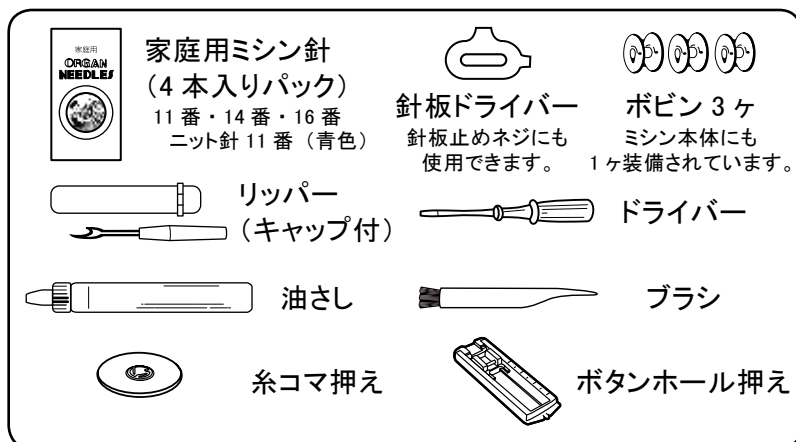
■ 緩衝材上の付属品



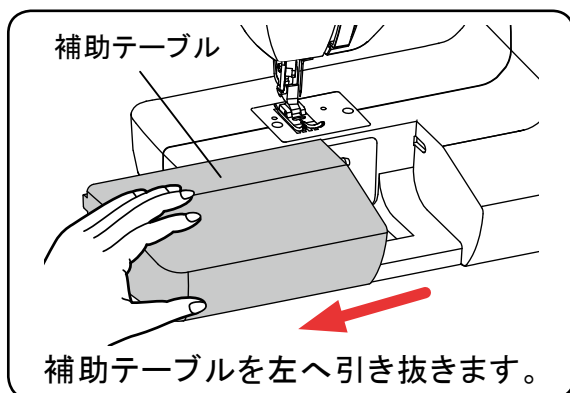
ハードケース内部の緩衝材は取り外さないでください。



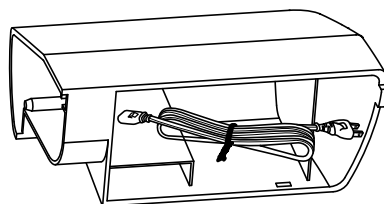
■ 補助テーブル内の付属品



● 補助テーブルのはずしかた

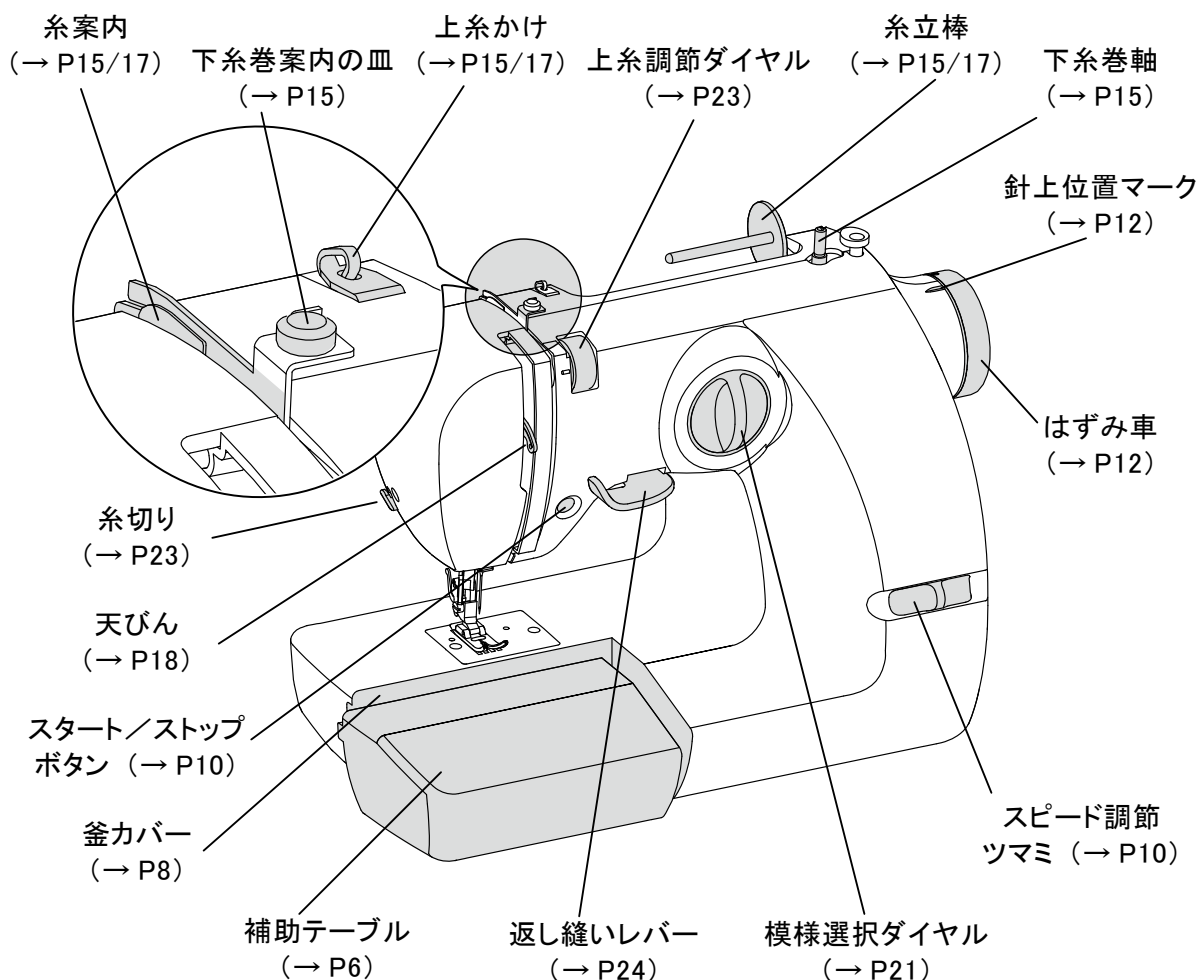


* 電源コードは補助テーブル内に収納することができます。

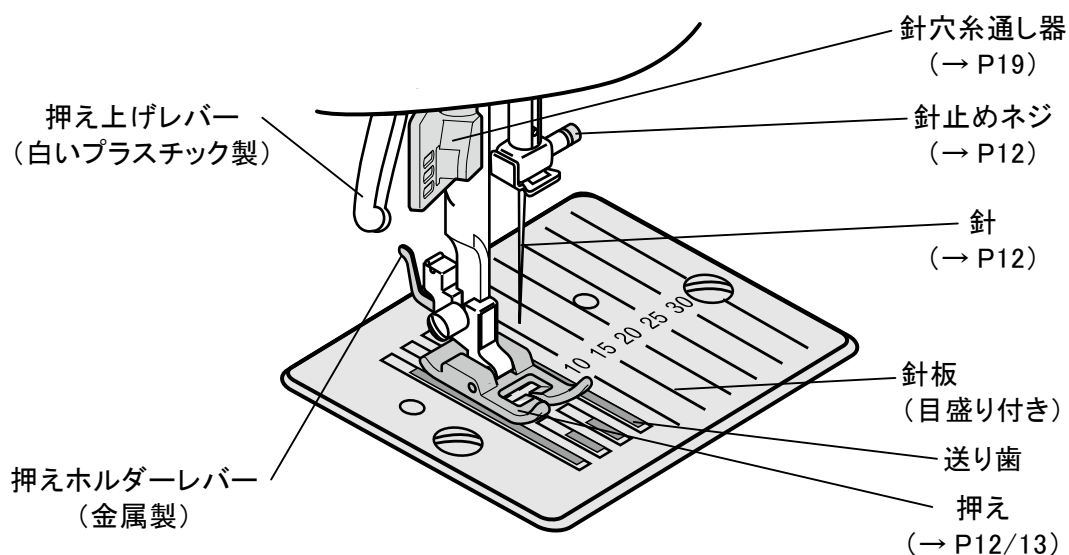


各部のなまえ

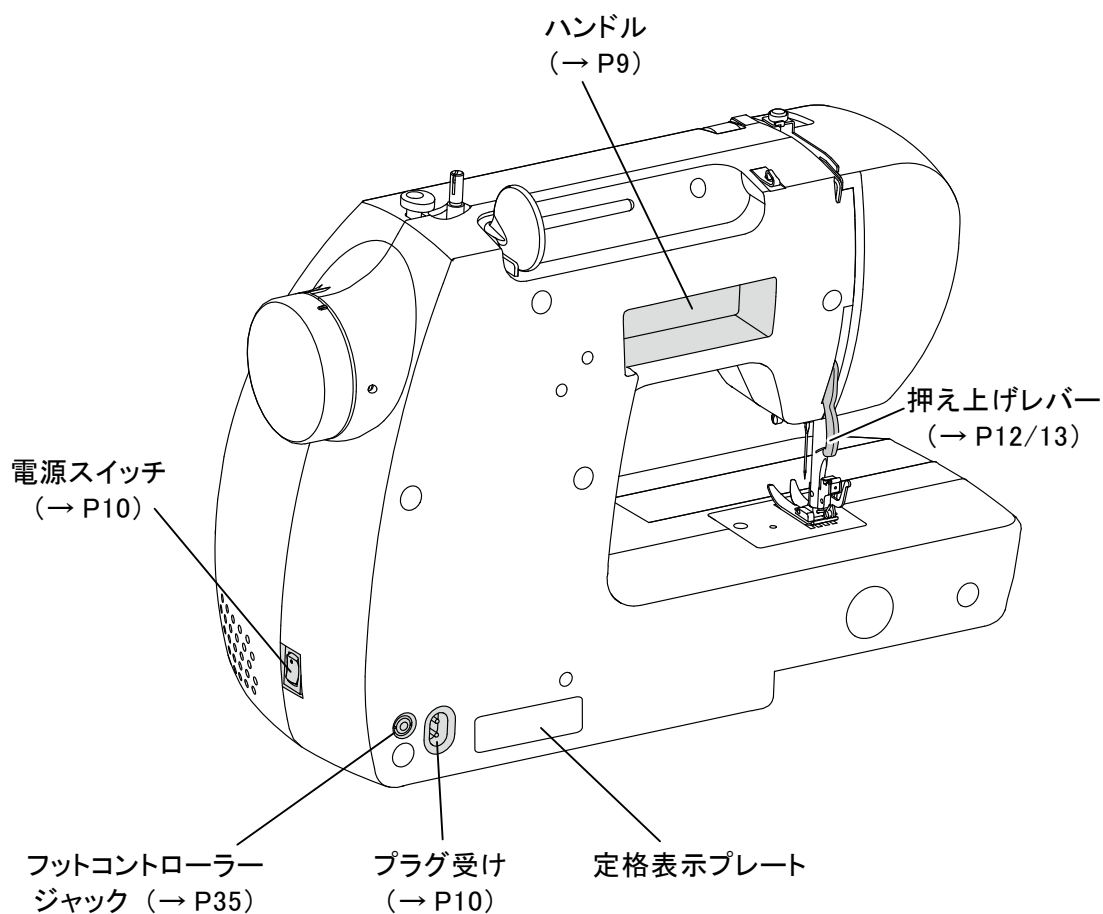
● ミシン本体 〈前面〉



● 針と針板周辺部品

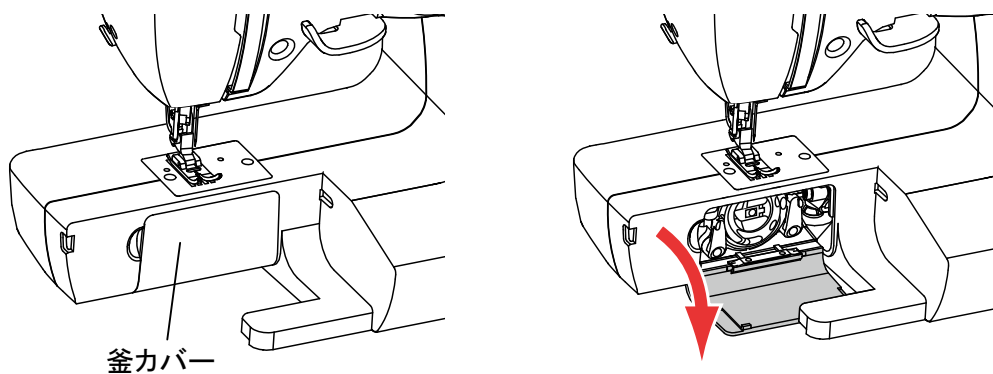


● ミシン本体 〈背面〉



● 釜カバーの開きかた

補助テーブルをはずしたあと、釜カバーを手前に開きます。



● ミシンの設置



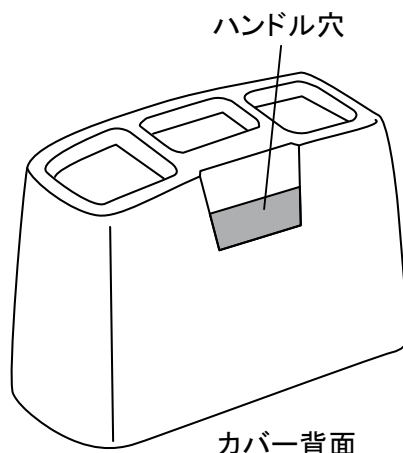
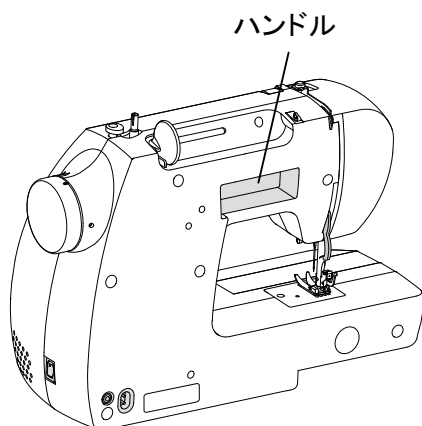
注意

安定した場所に設置する。
作業スペースを十分に確保する。
周囲に物を置かない。

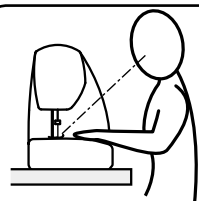
はずみ車や針・天びんなど動く部分が露出しています。
ケガの原因になります。

ミシンを持ち運ぶ際には、背面のハンドル部分に手を掛けて持ち運びます。
持ち運びの際は針やとがった部品に注意し、設置場所に置くときは静かに置いてください。

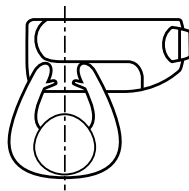
*カバーをかけたままでもハンドル穴から手をかけることができます。



◆ ミシンをより快適に使うために



針先が無理なく見える位置にミシンを設置してください。



針の中心と身体の中心が一致するようにミシンを設置してください。

● 電源コード接続の前に

縫い損じを防ぐため、次のことを実施してください。

【1】本体に糸がかかっている場合は糸をはずす

収納の際にかけていた糸がはずれている場合があります。
そのまま縫い進めると、故障の原因になります。

【2】電源を「入」にする前に、はずみ車を手で回してみる

ミシンが正常に動くかを確認します。

針が曲がっていると、釜に針が当たったり、針穴に針が入りません。

(→ P12「針のとりかえかた」参照)

● ミシンの動かししかた



注意



電源コードを差し込む前に電源スイッチを「切」にする。
はずみ車や針の周りに手や物を置かない。
使用後は電源スイッチを「切」にし、電源コードを抜く。
ミシンが突然動き、ケガをするおそれがあります。

【5】【7】

スタート /
ストップボタン



針に注意！

【6】

おそい はやい



スピード調節ツマミ

【1】

下糸巻軸

← 左へ

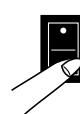


【2】【4】

電源スイッチ

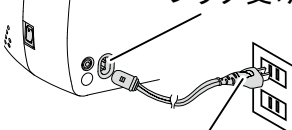
「入」

「切」



背面側

プラグ受け



【3】電源プラグ

【1】下糸巻軸を左側に押します。

【2】電源スイッチを「切」にします。

【3】電源コードをミシンのプラグ受けと家庭用電源に差し込みます。

【4】電源スイッチを「入」にします。(ランプが点灯します)

【5】ミシンを始動させる場合は、スタート／ストップボタンを押すとミシンが動き始めます。(押し続けなくても動きます)

【6】スピード調節ツマミを左から右に動かすと縫う速度が速くなり、右から左に動かすと縫う速度が遅くなります。

【7】ミシンを停止させる場合は、スタート／ストップボタンを押すと針は所定の位置で停止します。(スタート／ストップボタンを押したときの針停止位置は電源を入れるときに『針上』『針下』が選択できます。P13 参照)



- ・安全にお使いいただくため、ミシンに慣れるまでは、スピード調節ツマミを「おそい」にしてお使いください。
- ・このミシンは停止時に針が上で止まります。ミシンが完全に停止するまでは、はずみ車に手を触れないでください。
- ・また【1】の下糸巻軸を右に押した状態で、スタート／ストップボタンを押すと針は動かず、下糸巻軸のみ回転します。

● 針と糸、布の関係

- ・きれいに縫うためには、布に合った針と糸をご使用ください。(下表参照)
 - ・上糸と下糸は必ず同じ種類・同じ太さのものをご使用ください。
 - ・綿糸や絹糸は古くなると糸が切れやすくなります。新しい糸に交換してください。
 - ・針は家庭用ミシン針 (HAx1)、糸は家庭用ミシン糸とご指定の上お買い求めください。
 - ・工場出荷時、ミシンには 14 番の針が装備されています。
- (その他付属の針は → P6 参照)

布の種類		糸の番号 ※1	針の番号 ※2
薄地	薄地ジョーゼット、ボイル、タフタ、オーガージー、絹布など。	綿 80 ~ 100 絹 60 ~ 80 化繊糸 80 ~ 100	9 ~ 11
普通地	さらさ木綿、薄手コーデュロイ、ピケ、ギンガム、リンネル、サテン、別珍、一般服地など。	綿 50 ~ 80 絹 50 化繊糸 50 ~ 80	11 ~ 14
厚地	ギャバジン、ツイード、キルティング、デニム、コーデュロイ、タオル、帆布など。	綿 30 ~ 50 絹 50 化繊糸 30 ~ 60	16 ~ 18
伸縮性の生地	ダブルニット、トリコット、スパンデックス、ジャージなど。	綿 60 化繊糸 50 ~ 80 ニット用糸	ニット用針 11 ~ 14

※1：糸は数字が大きくなるほど細くなります。

※2：針は数字が大きくなるほど太くなります。

● 正しい針の選びかた

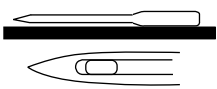
◆ 正しい針と不良針の見分けかた

 注意	  曲がった針を使わない 針が折れ、飛び散るおそれがあります。 ケガをするおそれがあります。
	 針は家庭用ミシン針 (HA×1) を使う 上糸と下糸は同じ種類・同じ太さのものを使う

- ・目飛び・糸がらみがする場合は、針先が曲がっていたり、つぶれている可能性があります。
- ・古くなった針を使用すると針のサビなどが原因で縫い目が波打ったり、しわになったりします。
- ・不良の針を使い続けると、きれいに縫えないばかりでなく、針板や釜に傷をつけます。

見た目だけでは判断出来ない場合もあります。

すぐに新しい針に交換してください。(針の交換は→ 12P 参照)

○ 正しい針 	× 悪い針  全体に曲がっている	 先端のつぶれ	 先端の曲がり
---	---	---	--

※ガラスのような平らな面に置き、針の曲がり具合を確認してください。

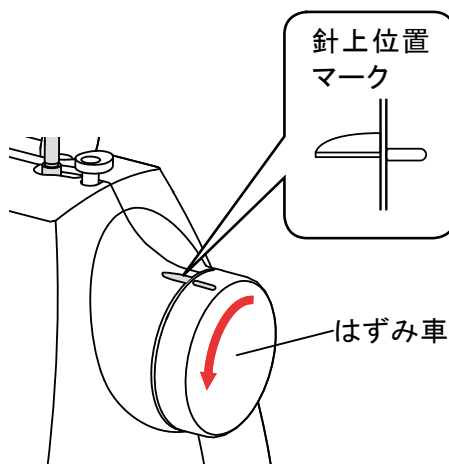
縫うための準備

● 針のとりかえかた

 注意	  電源プラグを抜く 突然動くとケガをするおそれがあります。
	  針先の注意 ケガをするおそれがあります。
	  針は平らな面を後向きにつける 針が折れ、ケガをするおそれがあります。 また、縫い目ができず縫えません。

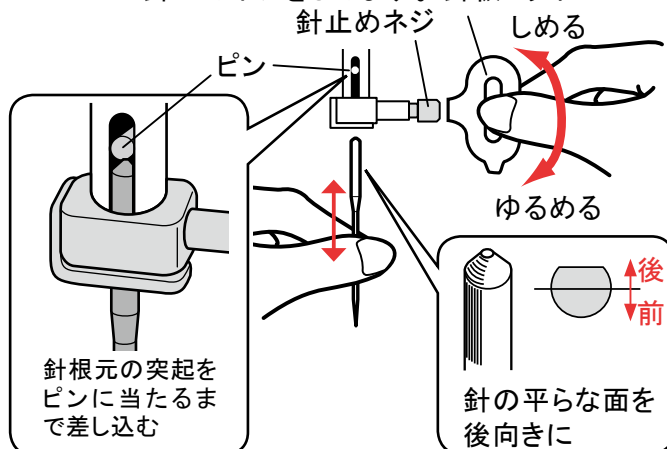
【1】針の位置を合わせます。

はずみ車を手前にまわし、
針上位置マークを図のよう
にあわせます。
(針が上位置になります)



【2】針をはずす・つける

はずす：取り付けられている針を持ち、針止めネジ
をゆるめ、針を下に引き抜きます。
つける：平らな面を自分から見えなように持ち、
ピンに当たるまで差し込み、
針止めネジをしめます。針板ドライバー



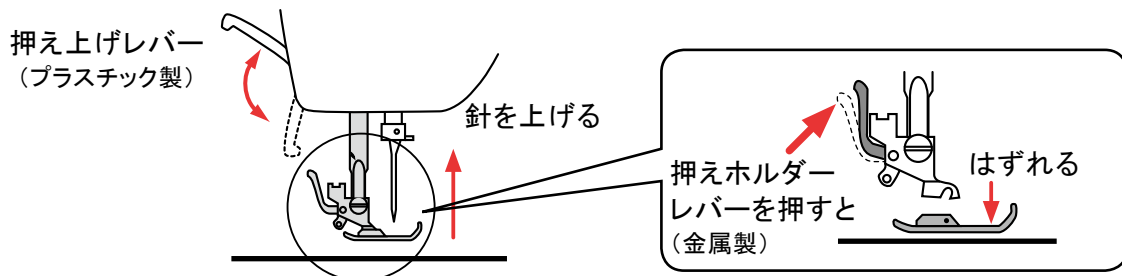
※付属の針板ドライバーをご使用ください。

● 押えのはずしかた

 注意	  電源プラグを抜く 突然動くとケガをするおそれがあります。
	  針先の注意 ケガをするおそれがあります。

【1】押え上げレバーを上げる

【2】押えホルダーレバーを押し ジグザグ押えをはずす



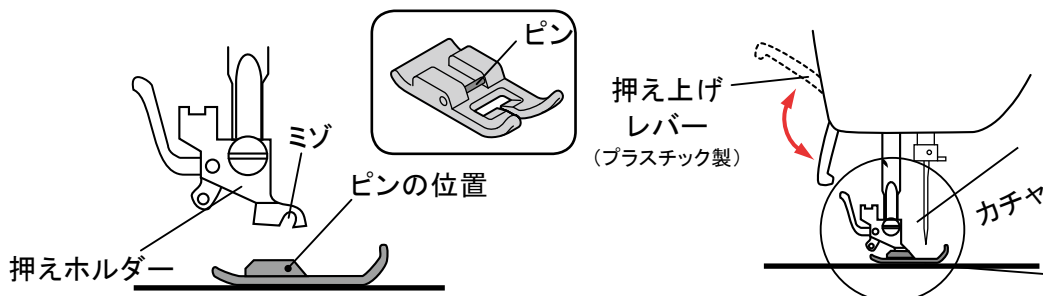
● 押えの取り付けかた

 注意	  電源プラグを抜く 突然動くとかガをするおそれがあります。
	  針をはずす 針交換時にケガをするおそれがあります。

【1】押え上げレバーを上げ、押えのピンを本体の押えホルダーミゾの真下にあわせる。

【2】押え上げレバーを下げる。

押え上げレバーを下げてカチッと音がすれば、押えが装着できています。



 押えを上げて、押えが取り付けられない場合は、もう一度押えの位置を少しずらして繰り返してください。

● 針停止位置の切り替えかた

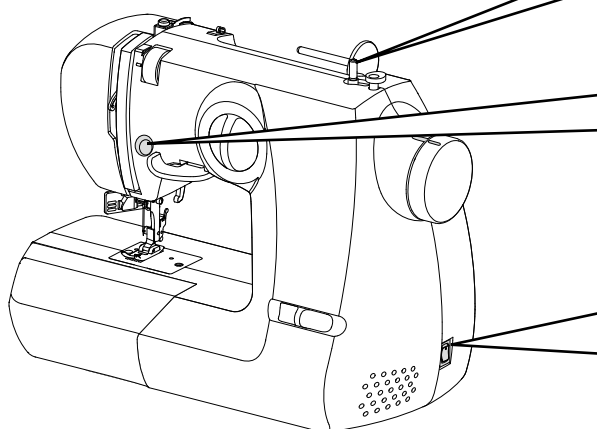
針の停止位置を下に切り替えることができます。 ※通常は針は上で停止します。

【1】下糸巻軸を左側にします。

【2】電源スイッチを「切」にします。

【3】電源コードを本体のプラグ受けと家庭用電源に差し込みます。

【4】スタート／ストップボタンを押しながら、電源スイッチを「入」にすると、針は下停止に切り替わります。(ただし、電源を入れたときは上で止まっています)



スタート／ストップボタン



※スタート／ストップボタンを押しながら、電源スイッチを「入」にする。

電源スイッチ



「入」

「切」

【5】針上停止に戻すには、電源スイッチを「切」にし、スタート／ストップボタンを押さずに再び電源スイッチを「入」にします。

● ボビンケースの取り出し方



注意



電源スイッチを「切」にする
針の下に手を置かない
ケガをするおそれがあります。

【1】電源スイッチを「切」にします。

【2】はずみ車を手前に回し、針上位置マークを合わせます。

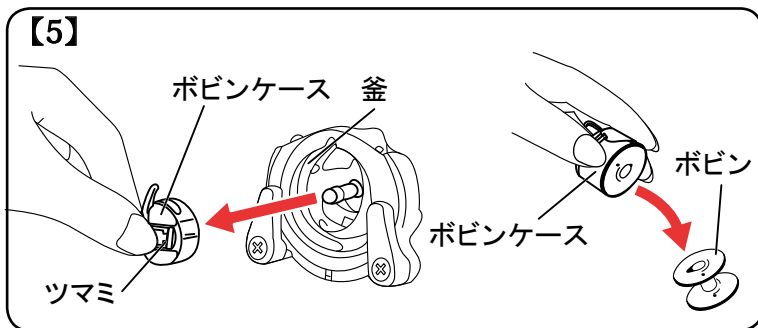
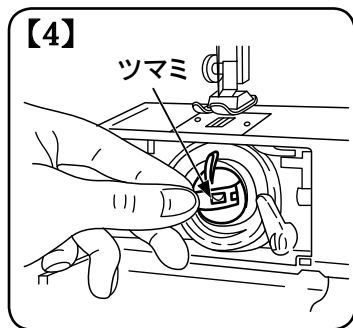
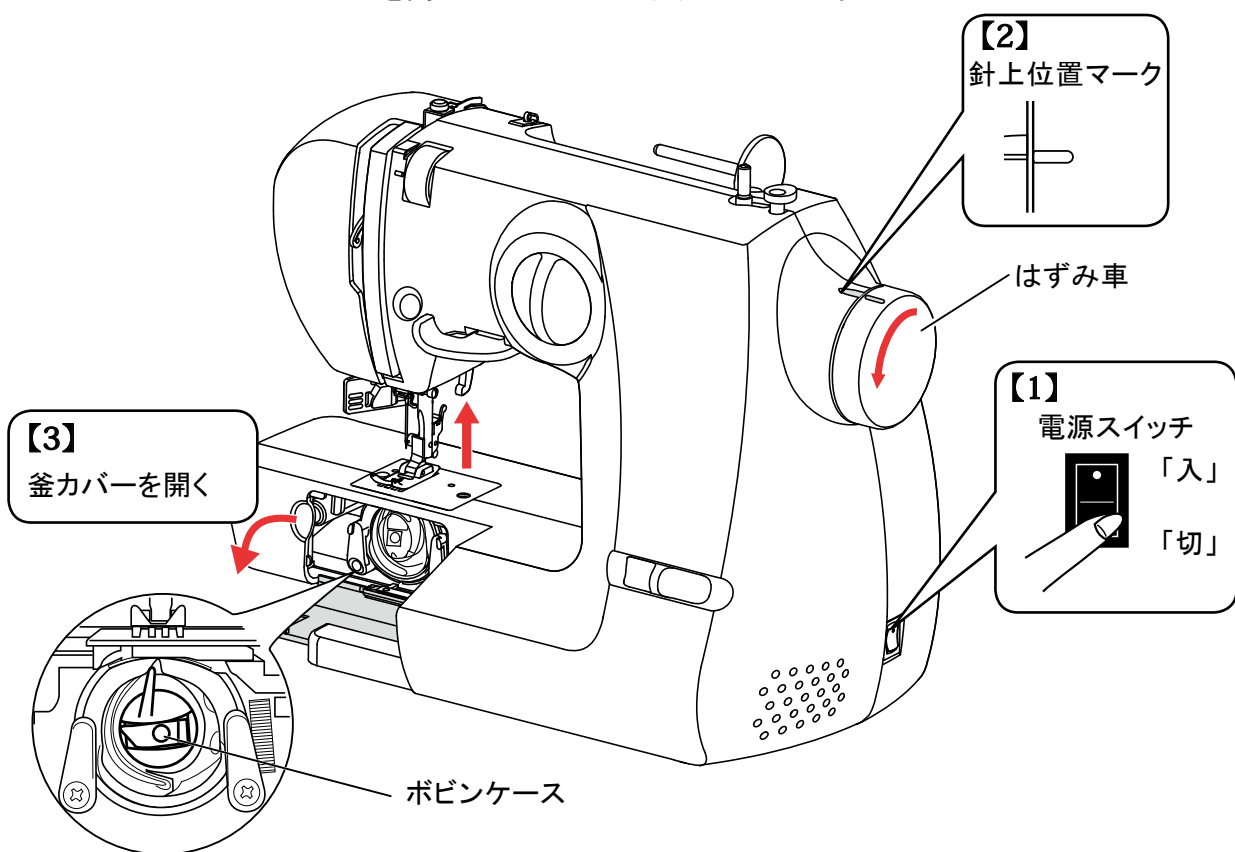
(針の位置が上になります)

【3】補助テーブルをはずし、釜カバーを開きます。(→ 8P を参照)

【4】ボビンケースのつまみをおこし、つまんだまま引き抜きます。

【5】ボビンケースを持ち変えてつまみを閉じると、中のボビンを取り出せます。

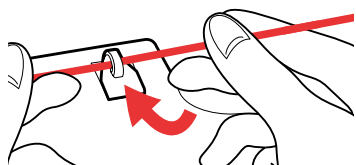
* ボビンケースのつまみを閉じないとボビンは取り出せません。



● 下糸の巻きかた

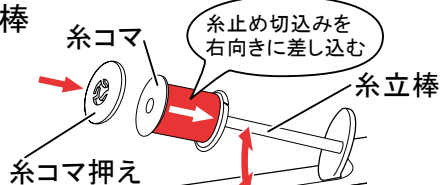
糸コマ押えは補助テーブルの中に入っています。

【2】上糸かけ



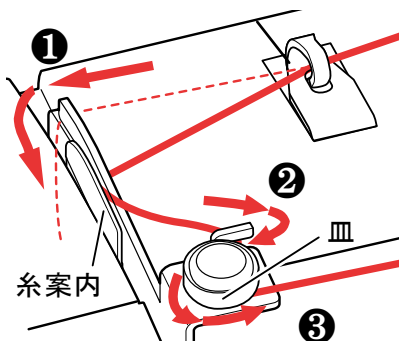
両手で糸を持ち、上糸かけにかけます

【1】糸立棒



糸コマを糸立て棒に入れ、糸コマ押えを差し込みます。糸をセットした後は、糸立て棒を水平に戻してください。

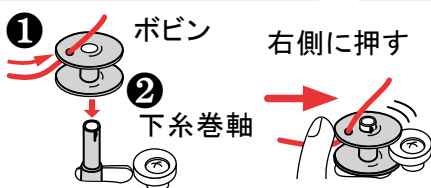
【3】下糸巻案内



①の糸案内にかけ、②フックにかけて皿の下に糸を入り込ませます。

【4】下糸巻軸

ボビンの穴に糸を内側から通し、ボビンを下糸巻軸に差し込み、右側に押します



【5】電源スイッチを

「入」にする
電源スイッチ



【6】糸を巻き始める

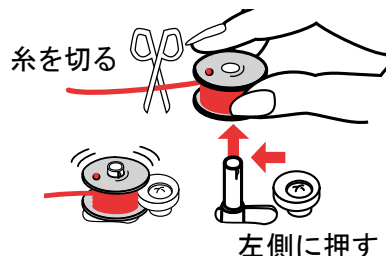
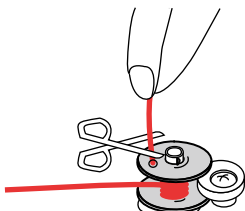
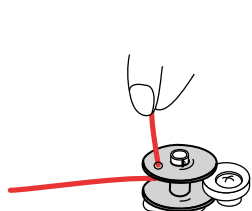
スピード調節つまみを「おそい」にします。糸端を持ち、スタート/ストップボタンを押します。ボビンは回転し、糸を巻き始めます。

【7】持っていた糸を切る

少し糸が巻けたら一度ミシンを止め、持っていた糸を根元で切ります。スピード調節つまみを「はやい」にして再びスタート/ストップボタンを押し、スタートします。

【8】ミシンを止め、ボビンを抜く

ボビンに糸が巻き終わると回転が止まります。スタート/ストップボタンを押し、ミシンを止めます。(電源も「切」にします) ボビンを左側に押してから、引き抜きます。

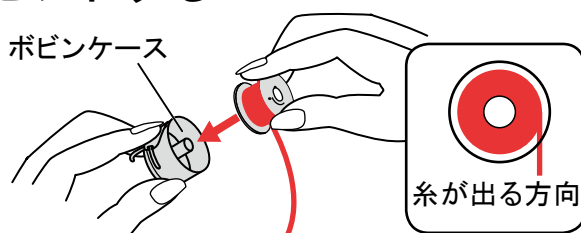


● ボビンケースにボビンをセットする

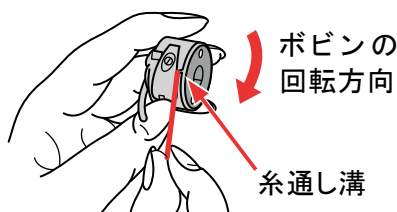
【1】ボビンを入れる

ボビンから糸を 10 センチほど引き出し、ボビンケースの中に入れます。

* 引き出した糸端が右側にくるように



【2】糸通し溝に糸を入れる

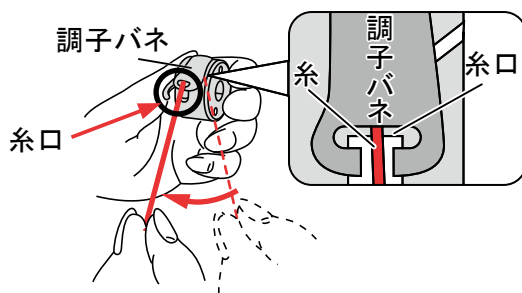


糸の端を持ち糸通し溝に入れます。

* 糸を引いたときボビンは時計まわりに回転します。

ボビンがスムーズに回転しない場合はボビンやボビンケースが変形しているおそれがあります。

【3】ボビンケースに糸をセットする



ボビンが回転しないようにボビンを押さえながら糸を左へ引き、調子バネの下をすべらせ、糸口まで糸を引きます。

● ボビンケースを釜にいれる



注意



電源スイッチを「切」にする

突然動くとケガをするおそれがあります。

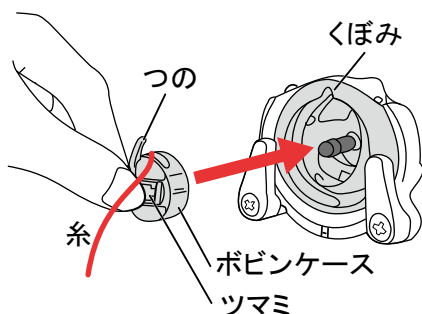
【1】針上位置マークを合わせる



はずみ車の針上位置マークを合わせて針を上げます。

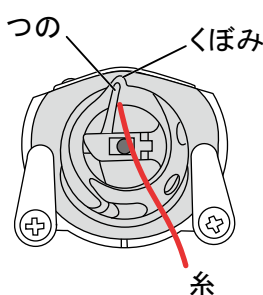
【2】ボビンケースを装着する

ボビンケースのつまみを持ち、つのを釜のくぼみに入るように合わせて奥まで差し込みます。



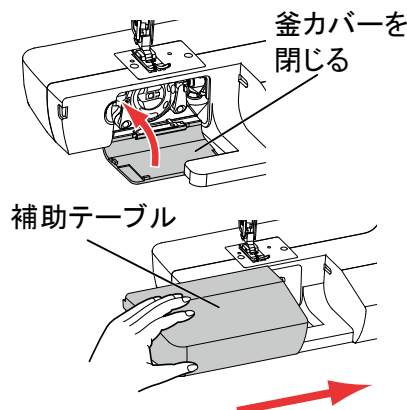
【3】つまみをはなす

つまみをはなし、固定できたことを確認して糸を手前にたらしておきます。



【4】ボビンケースのセット完了

釜カバーを閉じ、補助テーブルを取り付けます。



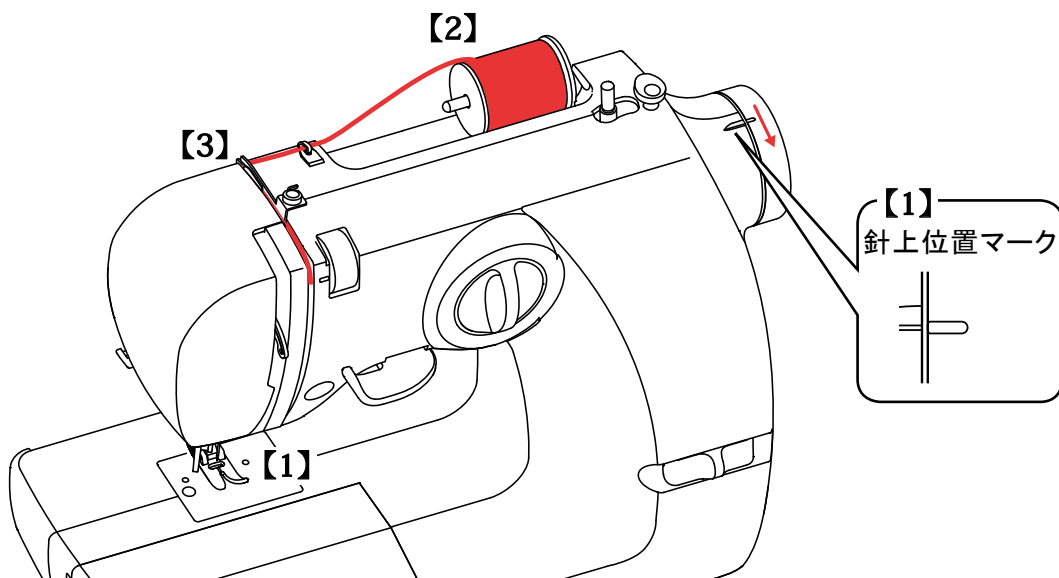
● 上糸のかけかた



注意

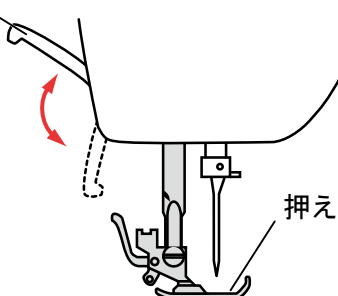


電源スイッチを「切」にする
突然動くとケガをするおそれがあります。

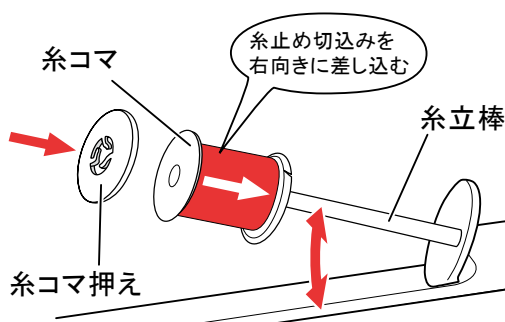


【1】押えを押え上げレバーで上げ、
はずみ車の針上位置マークを
合わせる

押え上げレバー



【2】糸を糸立棒にセットする



糸コマを糸立て棒に入れ、糸コマ押えを差し込みます。
糸をセットした後は、糸立て棒を水平に戻してください。

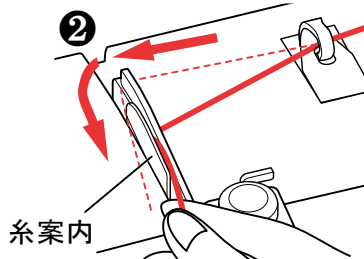
【3】上糸かけ、糸案内に糸をかける

上糸かけ



両手で糸を持ち、上糸かけ
にかけます

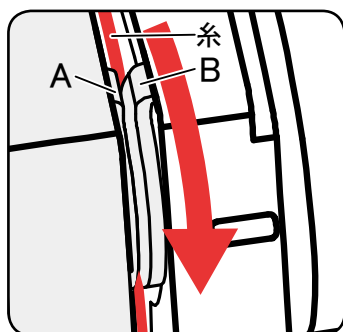
②



糸案内に通します。

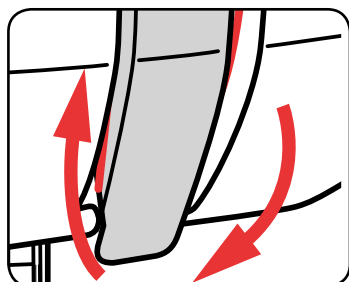
【4】糸調節器皿のあいだに糸をいれる

糸調節器皿 A と B のあいだに深く糸をいれます



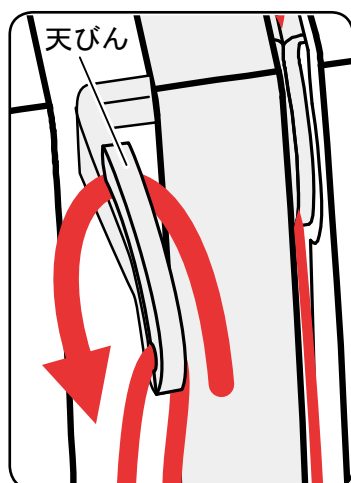
糸は皿 A と B あいだに、奥まで確実に挿入する。

【5】右溝から左溝へ糸をかける



【6】天びんに糸をかける

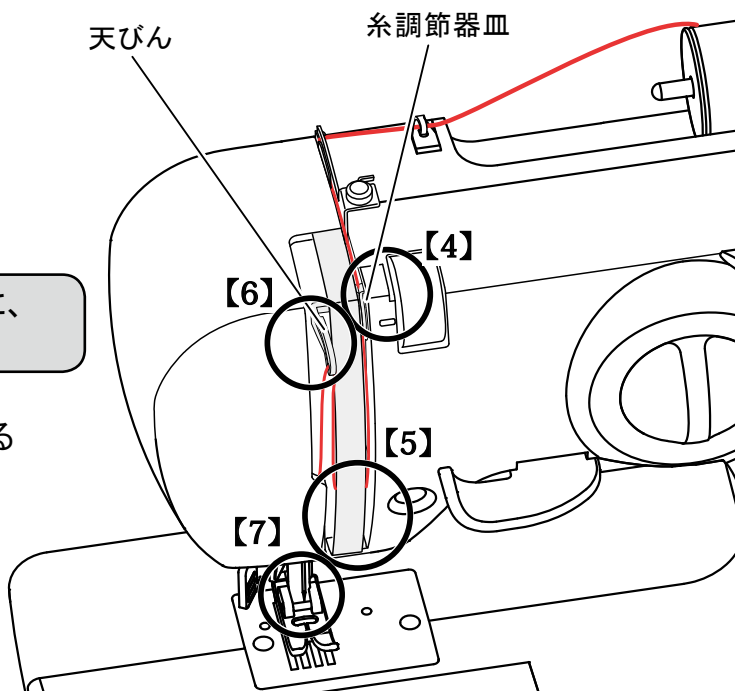
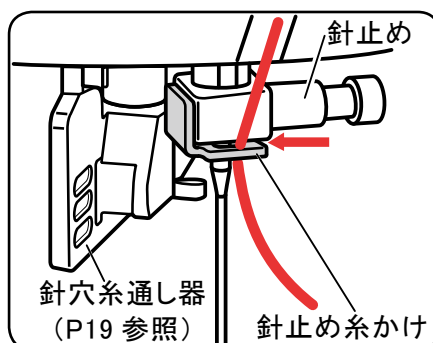
左溝の天びんに糸をかけます。
(天びんの奥から糸を引くとかかります)



天びんに糸がかかっていることを確認する

【7】針止め糸かけに糸をかける

天びんから左溝にそって糸を引き下ろし、針止めと糸かけの隙間に右からかけます。



● 針穴系通し器の使いかた



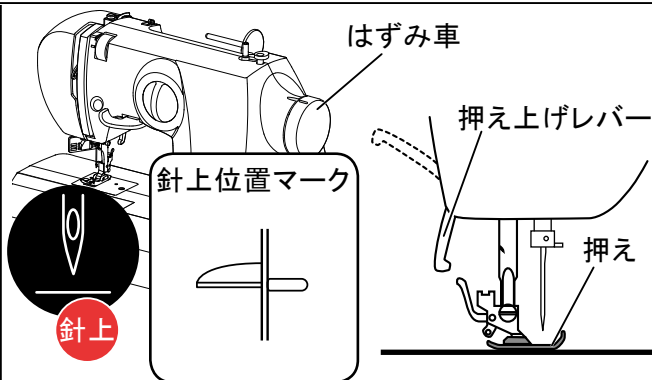
注意



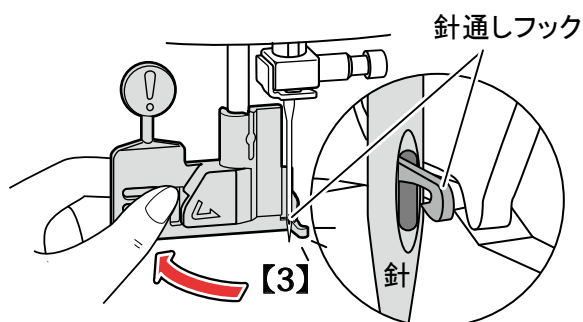
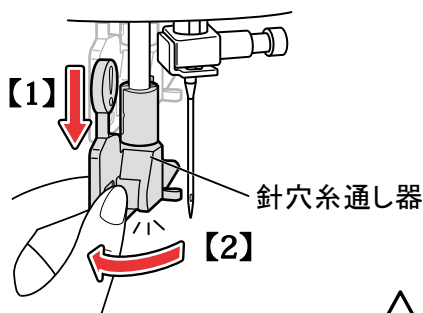
電源スイッチを「切」にする
突然動くとケガをするおそれがあります。



- ・ 押えを下げる
- ・ 針上位置マークを合わせる
- ・ 曲がった針は使わない
- ・ 針の太さ #14、16 で使う
- ・ 糸の太さ #40 より細い糸を使う
* 糸通しフックが破損します。



◆ 針穴系通し器を針穴にセットする



糸通しフックが針穴に通らなければ
糸は通りません。

- 【1】針穴系通し器を下げ止まる所まで引き下げ、
【2】回転させます。
【3】回転させたままにします。(針穴に糸通しフックが通ります)

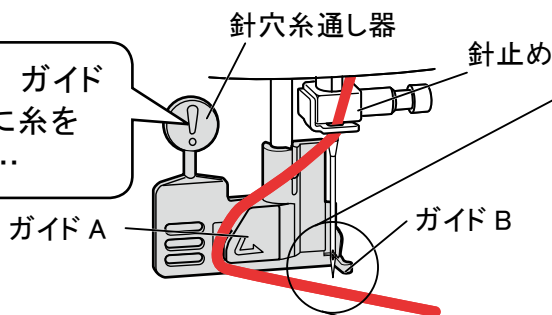


注意

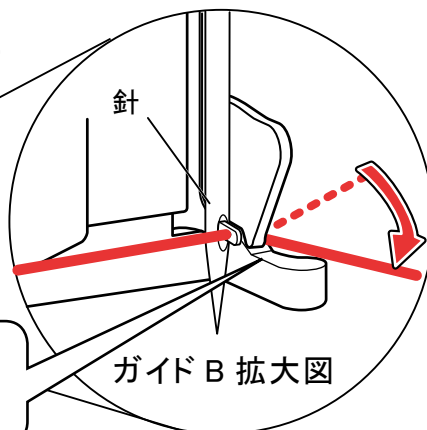
針穴系通し器を下げすぎない
糸通しフックが破損するおそれがあります。

◆ 針穴系通し器に糸をかける

- 【4】針止め、ガイド
A の順に糸を
かけ、...

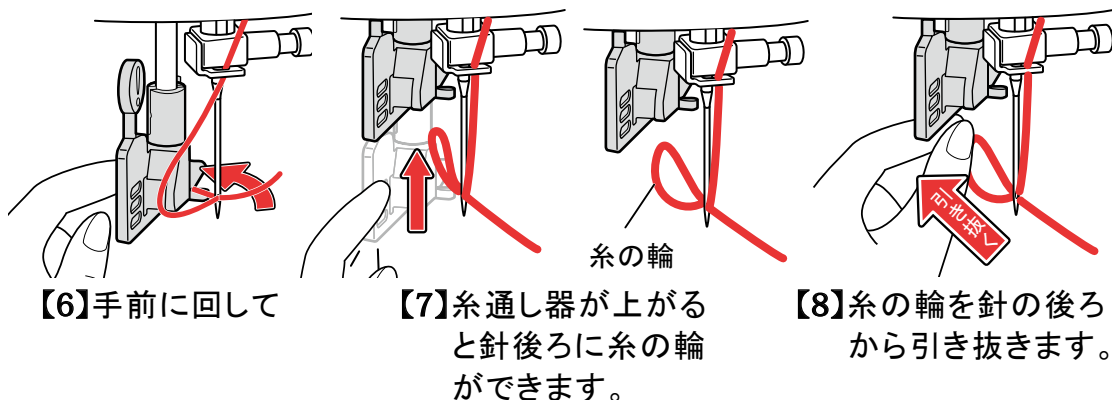


- 【5】ガイド B にそって糸を針まですべらせ、軽く
上手前に引くと糸通しフックに糸がかかります。



縫うための準備

◆ 針穴糸通し器をもどす



★ 誤った使いかたでは針穴糸通し器がはずれることがあります。
はずれたときは針穴糸通し器の穴と軸を合わせて差し込んでください。

● 下糸を引き出す

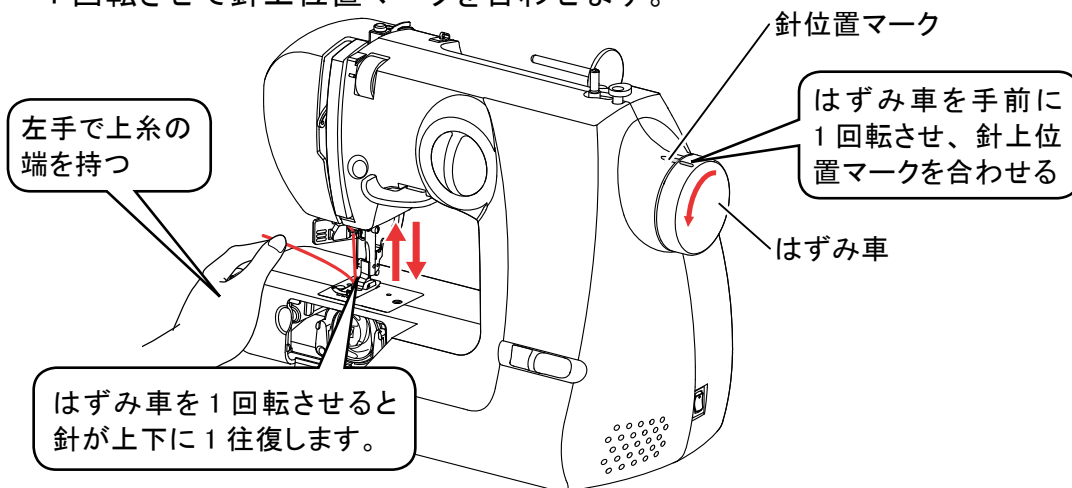


注意



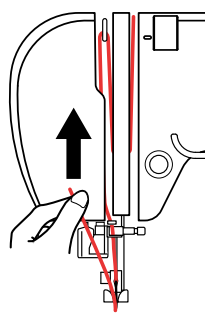
電源スイッチを「切」にする
突然動くとかげをするおそれがあります。

- 【1】左手で上糸の端を持ち、はずみ車を手前に
1 回転させて針上位置マークを合わせます。

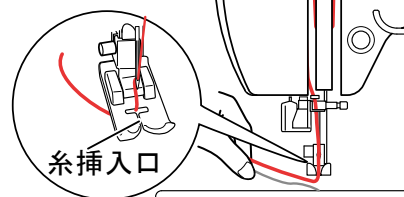


- 【2】上糸を引くと、下糸が
引き出されます。

(針を上下させても下
糸が出てこないときは、
糸の端を軽く引きなが
ら再度はずみ車を手前
に回してください)



- 【3】上糸と下糸を押え
の下から 10 センチ
ほど後ろ側に引き
出します。



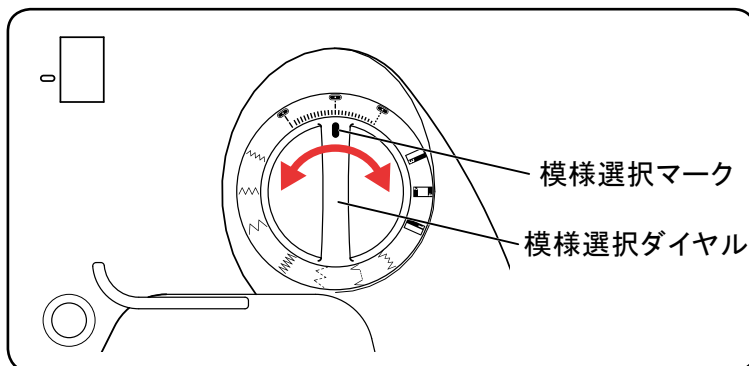
● 模様の選びかた



注意



針が刺さったまま、模様選択ダイヤルを
まわさない
ケガをするおそれがあります。

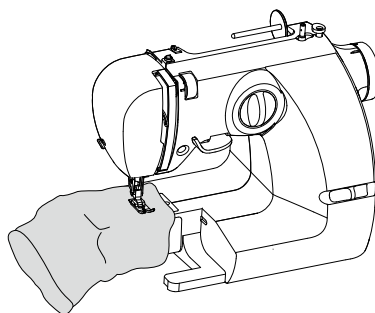
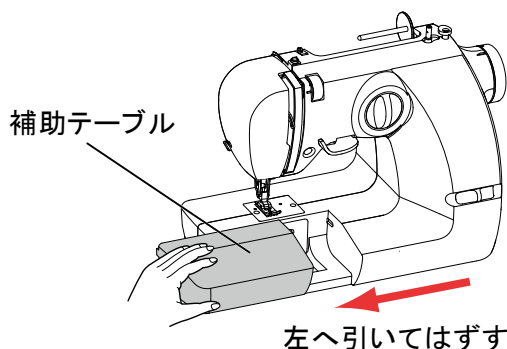


模様選択は模様選択ダイヤルを持ち、模様選択マークを模様に合わせてみます。

縫い模様	中基線	巾2 巾3.5 巾5 巾5	点線ジグザグ縫い	まつり縫い 伸縮まつり縫い	ボタンホール縫い
	直線縫い	ジグザグ縫い	点線ジグザグ縫い	まつり縫い 伸縮まつり縫い	ボタンホール縫い
表示					
使用する押え	ミシンに備えつけの押え（ジグザグ押え） 				ボタンホール押え
ページ	24～25	26	27	28	29～30

● フリーアームの使いかた

袖付け、ズボンの裾上げなど筒形のを縫うときは、補助テーブルをはずし、フリーアームとして使います。



● ためし縫い

余り布などを使い、きれいに縫うことが
できるかを確認します。

布を2枚ご用意ください。

【1】下糸巻軸は左側にする

(軸が右にあると針は動きません)

【2】縫う模様を選ぶ

模様選択ダイヤルの模様選択マークを
直線模様に合わせて。

【2】 模様選択マーク

模様選択
ダイヤル

【1】

左へ！



下糸巻軸

【4】 ①

背面側
プラグ受け



電源プラグ

【4】 ②

電源スイッチ



「入」
「切」

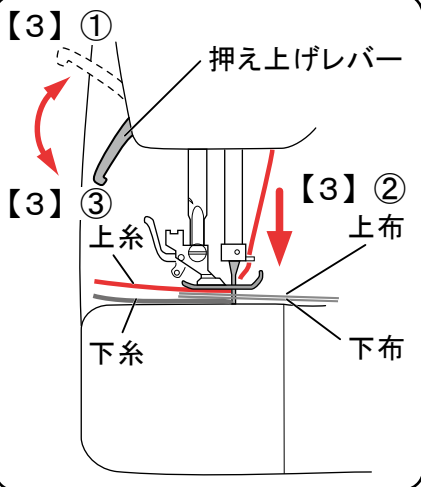
【4】 ③

スピード調節

ミシンの縫い速度になれるまでスピード
ツマミを「おそい」(左側)にする

【4】 ④ 【4】 ⑥

スタート / ストップボタンを押す



【3】 ①

押え上げレバー

【3】 ③

上糸

【3】 ②

上布

下糸

下布

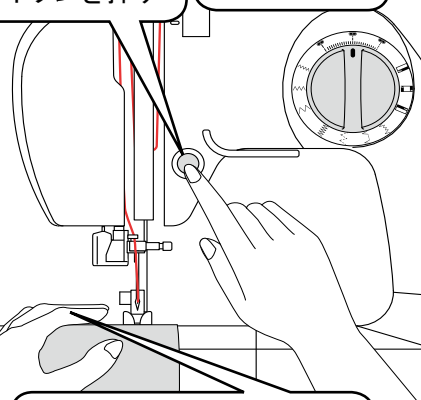
【3】布をセットする

- ① 押えを上げます。
- ② 布を押えの下に置き、はずみ車を
手前にまわして縫い始める位置に
針を刺します。
- ③ 押え上げレバーを下げます。

【4】縫ってみる

- ① 電源プラグを家庭用電源に差し込みます。
- ② 電源スイッチを「入」にします。
- ③ スピードツマミを「おそい」にします。
- ④ スタート / ストップボタンを押し、縫い始めます。
- ⑤ 布に手を軽くそえ、布の進む方向を修正しながら縫い
進めます。
- ⑥ スタート / ストップボタンを押し、ミシンを止めます。

★薄地を縫うときや布送りが悪い場合には、ハトロ
ン紙などの紙を布下に敷くとスムーズに縫うことが
できます。



【4】 ⑤

布に軽く手をそえます
押え過ぎないように注意



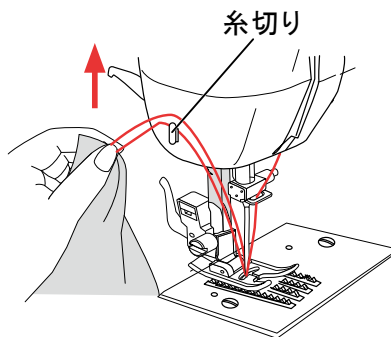
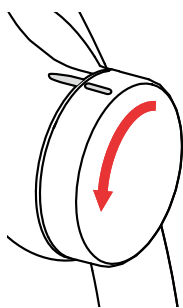
注意



厚くなった部分や帆布などはスピードツマミを
「おそい」にする。
針が折れ、ケガをするおそれがあります。

【5】布を引き出す

ミシンは針が上で止まり、はずみ車のマークが一致します。針下のときや一致していないときは合わせてください。



押え上げレバーを上げミシンの後側に布を引き出します。
上糸と下糸を糸切りにかけて切ります。

● 糸調子の確認と合わせかた

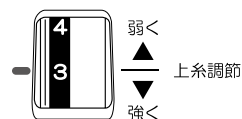
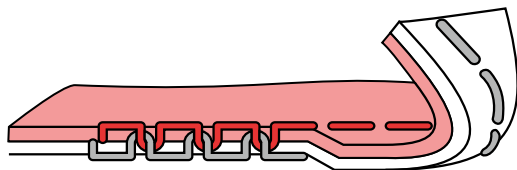
ためし縫い布を見て、確認します。

(布・糸・縫い模様によっては随時糸調子の確認が必要です)

通常は上糸調節ダイヤルのみの調節で調子を合わせます。

■ 糸調子が正しいとき

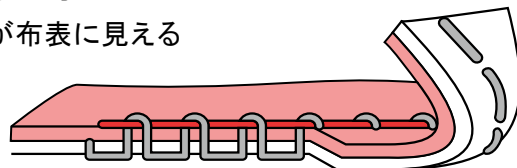
上糸と下糸が布の中間で交差し、糸のたるみ、布縮みのない状態



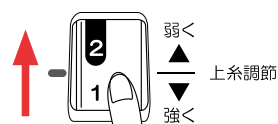
上糸調節ダイヤル

■ 上糸が強いとき

下糸が布表に見える



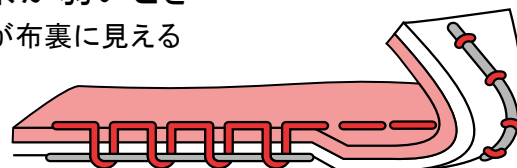
上糸を弱くするには…



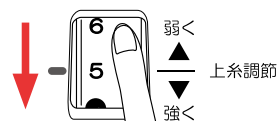
数字の小さくなる方にまわす

■ 上糸が弱いとき

上糸が布裏に見える

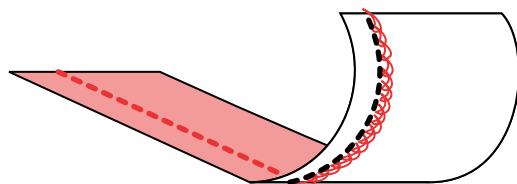


上糸を強くするには…



数字の大きくなる方にまわす

■ 布の裏側の糸がタオル地のようなのは…



糸が裏側にたくさん出ている場合は

- ・ 上糸調子が弱い
- ・ 押え上げレバーが上がったまま
- ・ 天びんから上糸がはずれている
- ・ 上糸調節器皿に糸が入っていない (P18【4】参照)
- ・ 上糸が太すぎる (30 番より太い糸)
- ・ 釜や針板にキズがある (P32【6】参照)

などが考えられます。

上糸をはじめからかけ直してください。

● 直線縫い



注意



針が刺さったまま、模様選択ダイヤルを
まわさない
ケガをするおそれがあります。

【1】はずみ車を回し、針上位置マークを
合わせる（針を上に出します）

【2】模様選択ダイヤルを回し、直線模様を選ぶ
縫い目の長さは「短い」から「長い」
まで細かく調整できます。

ワンポイント
アドバイス

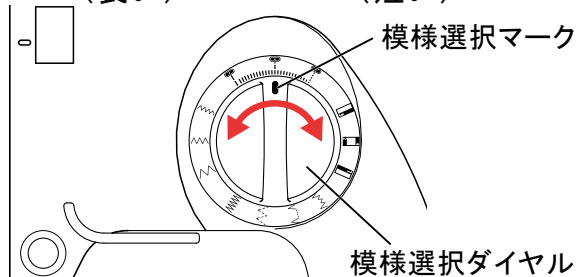
布が進みにくいときは、
縫い目の長さを（長い）
側に回します。

表示模様



(長い)

(短い)



● 返し縫い



注意

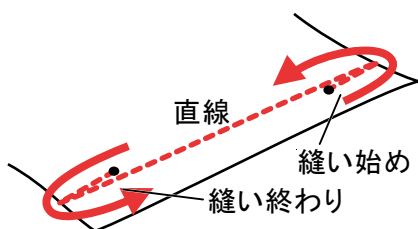


針が刺さったまま、返し縫いをしない
ケガをするおそれがあります。

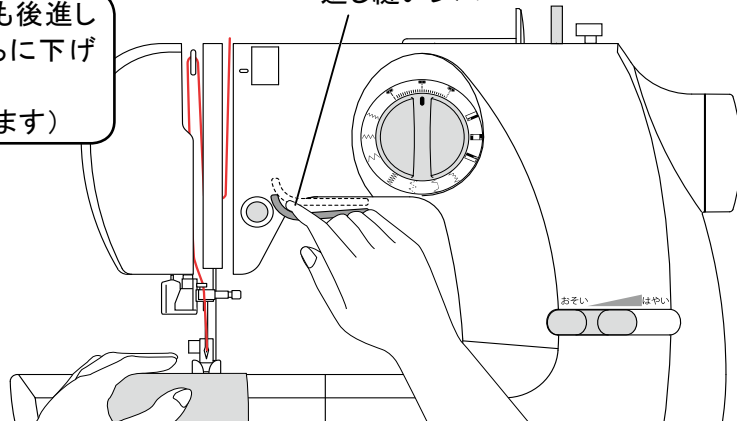
- ・縫い始め、縫い終わりがほどけないように、5～6針を返し縫いをします。
- ・直線模様で返し縫いレバーをいっぱいまで下げ続けているあいだは、後進します。レバーから手を離すと前進します。

ワンポイント
アドバイス

返し縫いレバーを下げても後進し
ないときは、レバーをさらに下げ
ます。
(動いているときに後進します)



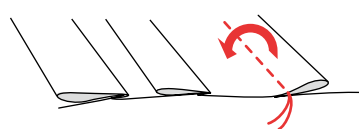
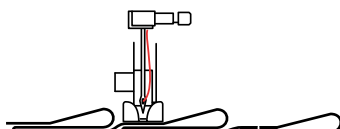
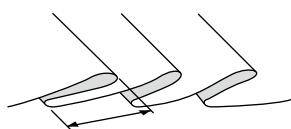
返し縫いレバー



■ (応用編) ピンタック

★ブラウスなどの装飾に使います。

- 1.アイロンでピン
タックの折り山
をそろえます。
- 2.折り山を伸ばさない
ようにしながら、ピン
タックを縫います。
- 3.アイロンで縫い
目を隠すように
たおします。



● 縫い方向のかえかた

【1】布の角まで縫い進む

0.5 ～ 1.0 センチ手前で止める。

角縫いの目標位置まではずみ車を手でまわし、縫い進める。

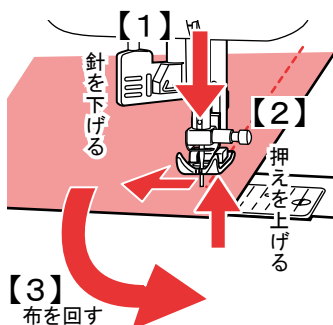
このとき、針は最下点まで刺します。

【2】押えを上げる

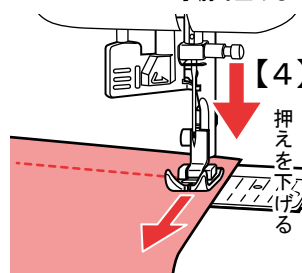
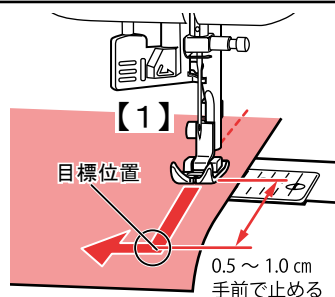
針を刺したまま押え上げレバーで押えを上げる。

【3】針を刺したまま布の向きを変える

【4】押えを下げ、再び縫い始める



※このミシンは電源を入れるときに針の停止位置を『上』・『下』を選択できます。
(P13「針停止位置の切り替えかた」参照)
常に針停止位置を『下』にすると縫いズレを簡単に防止することができます。



縫い始めるときは
押えを下げる

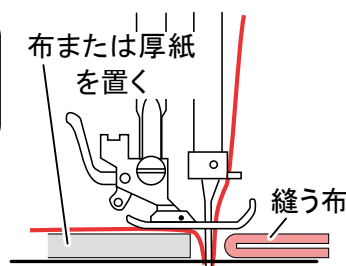
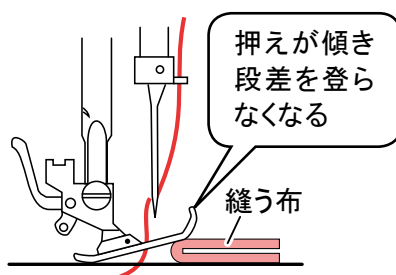
● 段縫い

布が重なり厚くなる部分は、いったんミシンを止め、はずみ車を手で回しながら縫い終えた糸端を適度に引っ張りながら縫うとスムーズに進みます。

● 厚地の縫い始め

厚地の布を布端から縫い始めるときに押えが傾き、スムーズに縫えないことがあります。

このようなときは、押えの下に布と同じ厚さの厚紙などを置き、押えの傾きをなくします。



注意

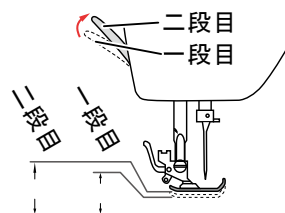


布を押し込んだり、引き出さない

針が折れ、ケガをするおそれがあります。

■ 押え上げレバーの操作

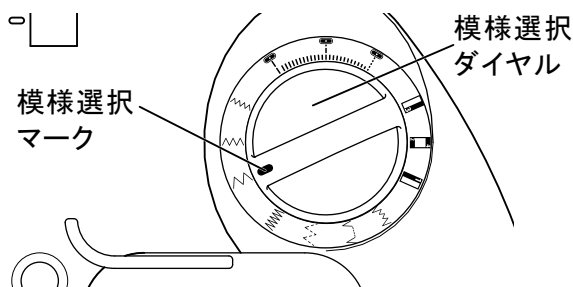
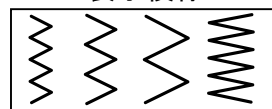
- ・押えの高さは一段目で止まります。
二段目まで上げることができますが手を離すと一段目の位置に戻ります。
- ・押え上げレバーを下ろした時に 10 mmを超えない程度の布の厚みで縫うようにしてください。



● ジグザグ縫い

- 【1】はずみ車を回し、針上位置マークを合わせる。(針を上にします)
- 【2】模様選択ダイヤルを回し、縫う場所に
応じて4種類のジグザグ模様を選び
ます。

表示模様



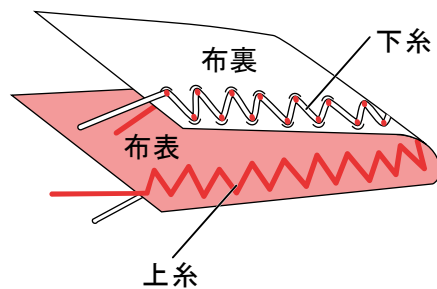
◆ ジグザグ縫いの糸調子は…

ワンポイント
アドバイス

数字の小さい
方にまわす



直線縫いよりも上糸調子をやや弱めに
にするときれいに縫えます。



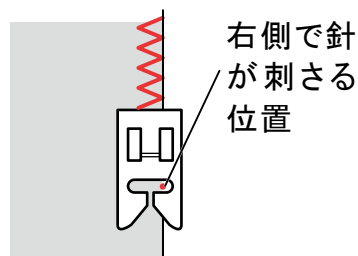
◆ 縁かがり（裁ち目かがり）

布端がほつれないようにします。
布の状態にあったジグザグ縫いを選びます。

縫いかた：はずみ車を手前に回して針が右に
きたとき、布端より針が少しはずれ
るように布を置き、押え上げレバー
を下げます。

ワンポイント
アドバイス

布端がずれないように、ミシンのスピードを
「ゆっくり」にします。

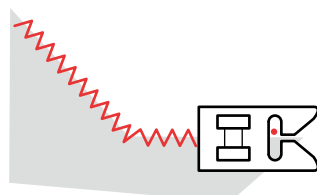
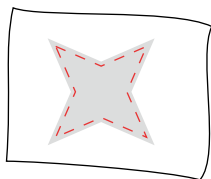


◆ アププリケ

市販や自作のアププリケ布を別の布の上に縫いつけます。
ジグザグ縫いを選択は、形や大きさに応じて選びましょう。

【1】アププリケ布を布にしつけるか、
布用ボンドで軽く止めます。

【2】アププリケ布のまわりをジグザ
グ縫いで縫いつけます。



ワンポイント
アドバイス

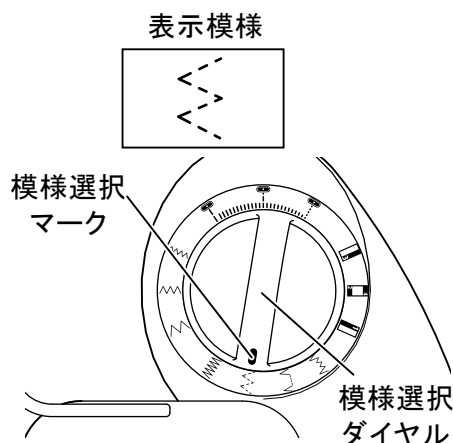
縫い方向をかえる場合はアププリケ布の外側に針を刺し、押え上げ
レバーを上げて布の方向を変えるときれいに縫えます。

● 点線ジグザグ縫い

【1】はずみ車を回し、針上位置マークを合わせる。(針を上に出します)

【2】模様選択ダイヤルを回し、点線ジグザグ縫いを選びます。

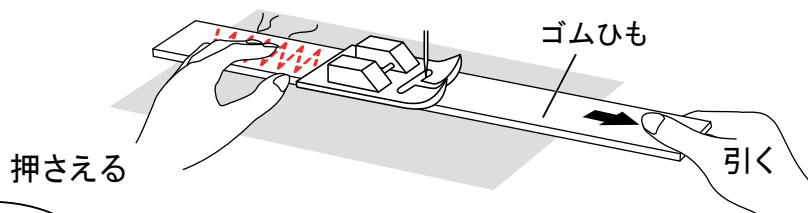
ジャージやトリコットなどの伸縮性のある布の縫製に適したジグザグ縫いです。布が伸びても縫い糸が切れません。伸縮性布地の縁かがりやゴムひもの縫いつけにも利用できます。



◆ ゴムひもの縫いつけ

【1】ゴムひもはでき上がり寸法＋縫いしろ(2センチほど)の長さ分を用意します。

【2】ゴムの縫い上がりが押えの後ろ側から出てきたら、ゴムひもを伸ばしながら縫い進めます。



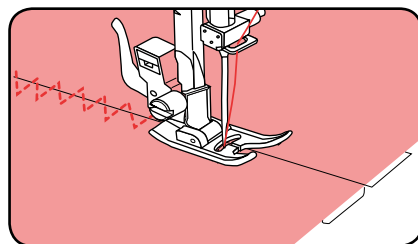
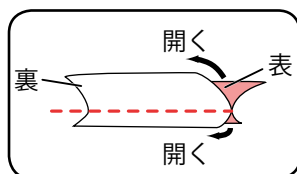
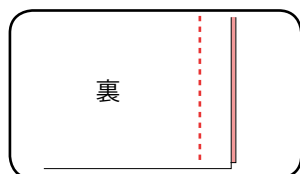
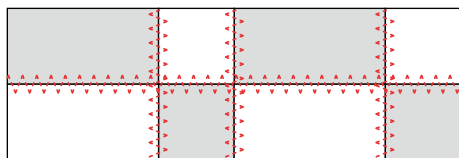
ワンポイント
アドバイス

布の進む速度に合わせて、ゴムひもを伸ばしたまま布と一緒にずらすときれいに縫うことができます。

ゴムひもを伸ばしながら縫うときに、ゴムだけを強く引き伸ばすと針が手前に曲がり針が折れたり、目飛びがおこります。

◆ パッチワーク

いろいろな布をつなぎ合わせ、装飾に用います。



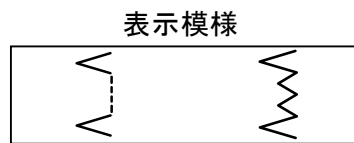
【1】2枚の布の表を合わせ、直線縫いで縫い合わせをします。

【2】縫い合わせを開きます。

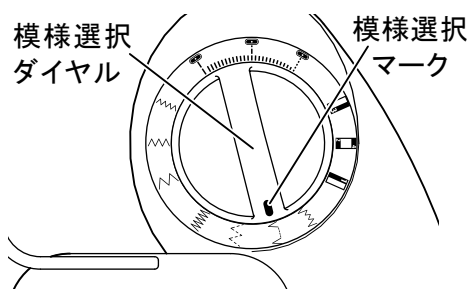
【3】両方の布に模様がまたがるようにして縫います。

●まつり縫い（ブラインドステッチ）

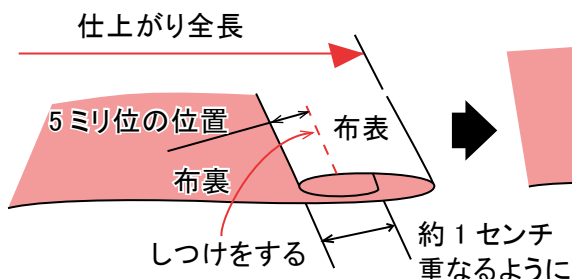
- 【1】はずみ車を回し、針上位置マークを合わせる。（針を上に出します）
- 【2】模様選択ダイヤルを回し、まつり縫い模様または伸縮まつり縫い模様を合わせる
ズボンやスカートの裾上げ、袖口の裁縫に用います。服の寸法直しなどにもご利用いただけます。



まつり縫い 伸縮まつり縫い

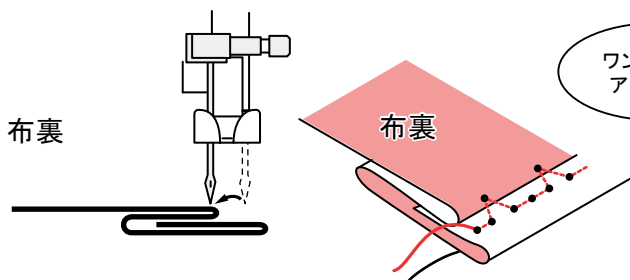


- 【3】布を図のように折り、しつけをする



しつけ縫い目を開き、アイロンで伸ばす

- 【4】はずみ車を手前に回し針を左側でゆっくり下げ、布の折り山にわずかに針がかかるよう、布の位置を合わせて縫う
（針がかかる量は少ないほどきれいに縫いあがります）

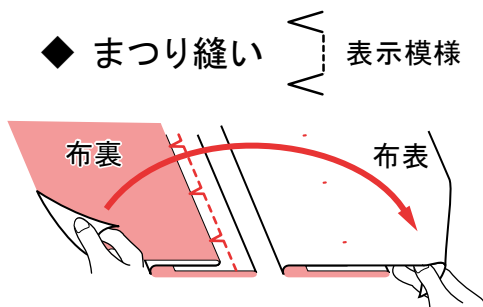


ワンポイント
アドバイス

ミシンでまつり縫いをするときは、必ず布裏を上にしてセットしてください。

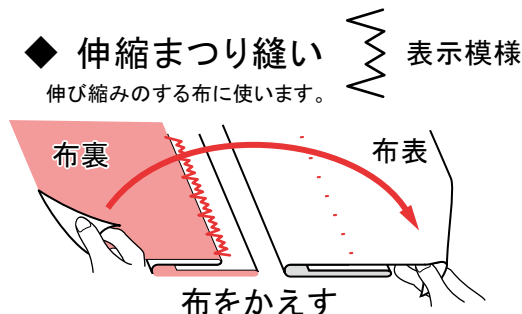
- 【5】布を返し、しつけ糸を抜く

◆ まつり縫い 表示模様



◆ 伸縮まつり縫い 表示模様

伸び縮みのする布に使用します。



ワンポイント
アドバイス

まつり縫いで針が左のとき、布の折り山に針がかかる量が少ないほどきれいに縫いあがります。
または、布の折り山に針がかからないと仕上がりが目飛びをします。

● ボタンホールかがり

ボタンの大きさに応じたボタンホールができます。

ワンポイント
アドバイス

伸縮性の布や薄い布は、
不織布（芯地）を裏に貼
るとよりきれいに仕上が
ります。

【1】はずみ車を回し、針上位置マークを
合わせる。（針を上にしします）

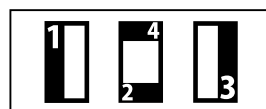
【2】ボタンの大きさと厚さ、布の種類に
応じてボタン穴の長さを決める。

ボタン穴の長さ = ボタンの直径 + 厚み

【3】ボタンホールを作る布に印をつける。

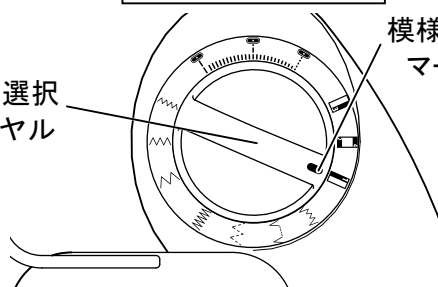
【4】ミシンに取り付けられている押えをはずす
（押えのはずしかた…P12 参照）

表示模様

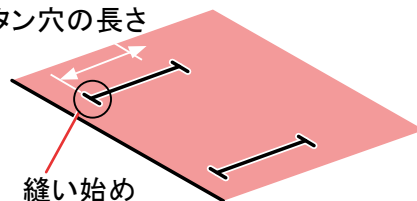


模様選択
ダイヤル

模様選択
マーク



ボタン穴の長さ



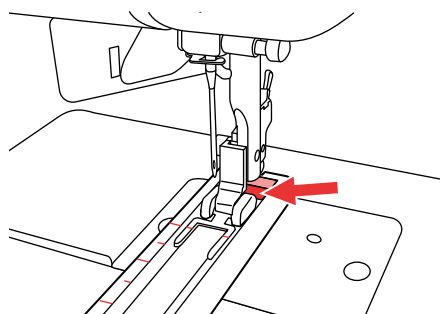
注意



電源スイッチを「切」にする
突然動くとケガをするおそれがあります。

【5】ボタンホール押えをミシンに取り付ける。

ミシン本体に取り付けられている押えを
はずし、ボタンホール押えを取り付ける。
（押えの取り付けかた…P13 参照）



ボタンホール押えの枠を手前に
引き、うしろ側のすきま（矢印）
をなくします。



注意

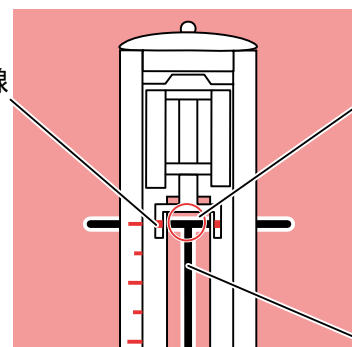


針先の注意する
ケガをするおそれがあります。

【6】布をボタンホール押えの下に置き、
ボタンホール押えの赤い線を布の縫
い始めの線に合わせます。中心線
がボタンホール押えの穴の中央にし
てボタンホール押えを下げます。

赤い線

縫い始め



中心線

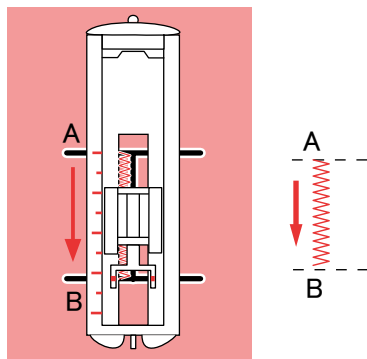
【7】ボタンホールの縫い進めかた

**注意**

針が刺さったまま、模様選択ダイヤルを
まわさない
ケガをするおそれがあります。

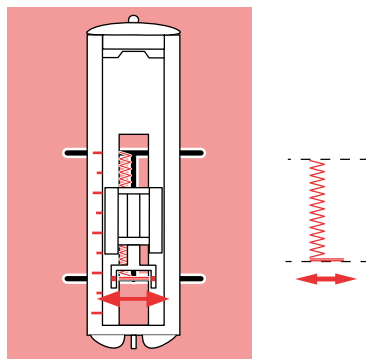
①

1



A～B の位置でミシンを
止めます。

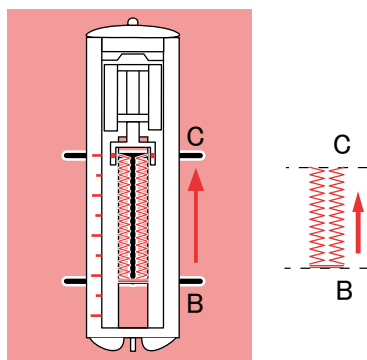
②

4
2

5～6 針かんぬき止めし、
ミシンを止めます。

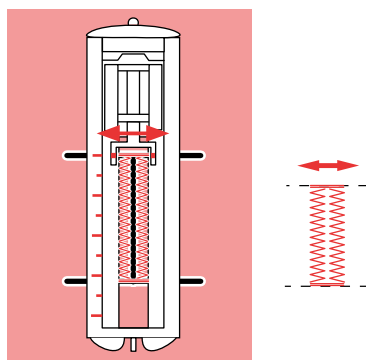
③

3



B～C の位置でミシンを
止めます。

④

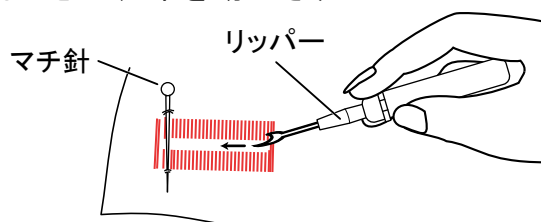
4
2

5～6 針かんぬき止めし、
ミシンを止めます。

★さらに強度のあるボタンホールにするときは、布を動かさず
もう一度重ねて縫ってください。

【8】仕上げ

縫い終わったら布を引き出して糸を切り、付
属のリッパーで縫い目を切り過ぎないように
ボタン穴を切り開きます。

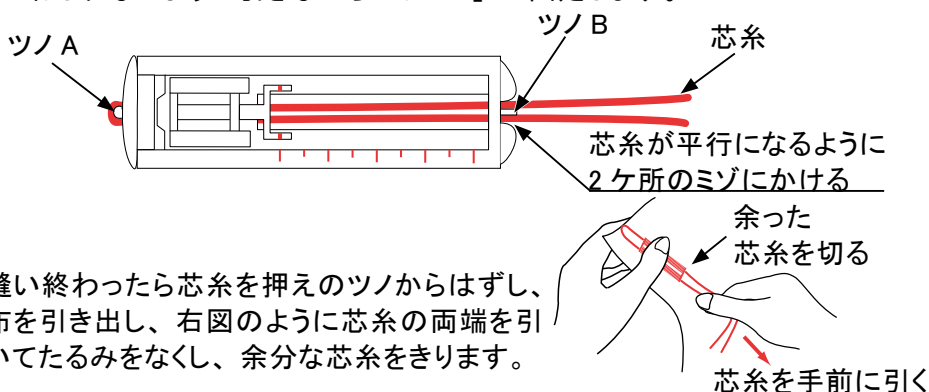
**注意**

リッパーの先端に手を添えない
ケガをするおそれがあります。

◆ 芯入りボタンホール

★伸縮性のある布や、丈夫なボタンホールにしたいとき

芯糸をボタンホール押えの「ツノA」に引っ掛けて押えの下から手前に引き、ねじれないように引きながら「ツノB」に固定します。



お手入れ

● 釜の掃除と注油



注意



電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く

お手入れ中、スタート/ストップボタンに触れると予期せずミシンが動きだし、手や指が挟まったり、針が刺さったりするおそれがあります。

- ◆ 釜の中に糸くずやホコリがたまるとミシンの回転が重くなります。
次の手順で月一回程度の頻度で掃除をしてください。



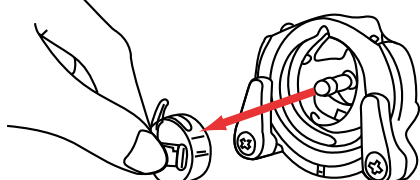
注意



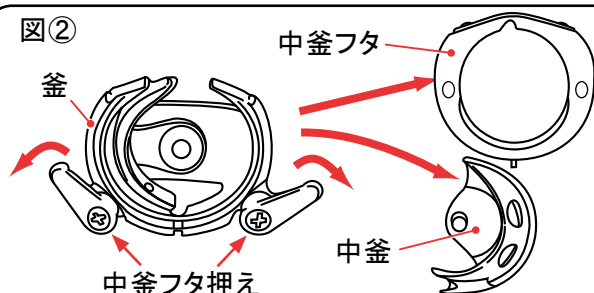
付属の油か市販の「ミシン油」をご使用ください。
その他の油を使用するとミシンが壊れます。
スプレー式の浸透潤滑剤は使用しないでください。
外装のプラスチックが割れるおそれがあります。

1. 針を上げます。(はずみ車を手前にまわし、針上位置マークに合わせます)
2. 糸コマをはずして上糸を取り除きます。
3. 釜カバーを開き、ボビンケースのツマミを持ってボビンケースを取り出します。(図①参照)
4. 中釜フタ押えを左右に開き、中釜フタ・中釜の順で取り出します。(図②参照)
5. 中釜にキズなどが無いかを確認し、キズがある場合は目の細かい紙ヤスリ等で取り除いてください。(図③参照)
6. 釜のまわりの糸くずやほこりを付属のブラシで取り除き、図で指示したところに付属の油さしで油を一滴さします。(図④参照)
7. 組み立てるときは向きに注意し、中釜・中釜フタの順番で取り付け、中釜フタ押えを閉じて固定します。(図⑤参照)

図① 針を上げ上糸を取り除いてからボビンケースを取り出します。



図②



お手入れ

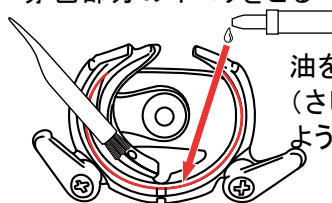
図③



中釜にキズが無いかを確認し、キズがあれば、目の細かい紙ヤスリ(400～1000番)などで取り除く

図④

付属品のブラシで油をさす前に赤色部分のホコリをとる



油を一滴さす(さし過ぎないように)

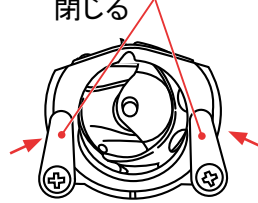
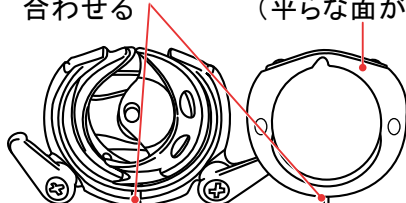
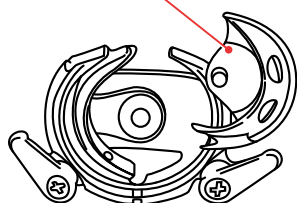
図⑤

中釜 (方向に注意)

ピンと釜の溝を合わせる

中釜フタ (平らな面が表)

中釜フタ押えを閉じる



● 送り歯の掃除



注意

電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く



お手入れ中、スタート/ストップボタンに触れると予期せずミシンが動きだし、手や指が挟まったり、針が刺さったりするおそれがあります。



注意



針先に注意する
ケガをするおそれがあります。



送り歯の隙間のゴミを取り除く

送り歯の隙間にゴミがたまると、布が進まなくなります。そのまま縫うと、糸がらみや針折れだけでなく、布を傷つけてしまいます。

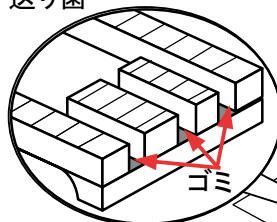
【1】針をはずします。

【2】押えをはずします。

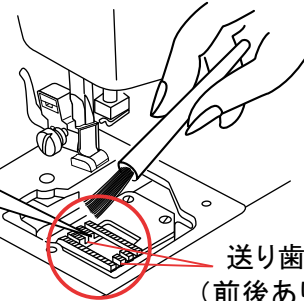
【3】針板止めネジをはずします。

【4】針板をはずします。

送り歯



ゴミ

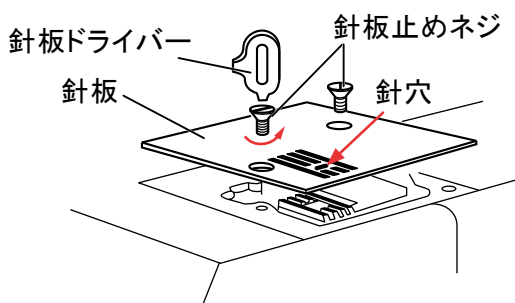


送り歯
(前後あり)

【5】送り歯の隙間にはさまっているゴミ等を取り除きます。(前側送り、後側送りがあります)

【6】針板の針穴にキズがある場合ヤスリなどで取り除く。

【7】針板、ネジ、押え、針を取り付けます。



困ったときは

ミシンの調子が悪い場合は、次のことを確かめてください。

なぜ……？	ここをお調べください	参照 ページ
ミシンが 動かない	- 電源コードが正しく接続されていますか？ - 電源スイッチとスタート / ストップボタンをもう一度押し直してください - 下糸巻軸が右側になっていませんか？ - 釜に糸がからみついていませんか？ - フットコントローラーを差しているときスタート / ストップボタンでは動きません。	10 10 10 31 35
音がうるさい 回転が遅い	- 釜の油が切れています - 釜の内部に糸くずがたまっていますか？ - 送り歯にゴミがたまっていますか？ - 針が古くなっていますか？	31 31 32 11
針が 折れてしまう	- 布を無理に引っばっていませんか？ - 針の取り付けかたは正しいですか？ - 上糸の調子が強すぎませんか？ - 針と糸、布の関係は正しいですか？ - 釜や針板にキズがありませんか？	22 12 23 11 31, 32
糸が からまる	- 上糸のかけかたは正しいですか？ - 上糸調節はしましたか？ - 押えが下がっていますか？ - ボビンケースが正しくセットされていますか？	17 23 22 16
上糸が 切れる	- 上糸のかけかたは正しいですか？ - 上糸調節はしましたか？ - 針の取り付けかたは正しいですか？ - 針と糸、布の関係は正しいですか？ - 糸が古くなっていますか？ - 針が折れた場合は針板・中釜のキズを確認してください。	17 23 12 11 11 31
下糸が 切れる	- ボビンケースが正しくセットされていますか？ - 釜に糸がからみついていませんか？ - ボビンケースへボビンが正しくセットされていますか？ - 糸が古くなっていますか？ - 針が折れた場合は針板・中釜にキズが確認してください。	16 31 16 11 31
下糸がうまく 巻けない	- 下糸の巻きかたは正しいですか？ - 下糸巻案内に一周巻きつけ、皿の下にきちんと糸をくいこませていますか？	15 15

なぜ……？	ここをお調べください	参照 ページ
布が 送れない	・ 送り歯にゴミがたまっていますか？ ・ 模様の選びかたは正しいですか？ ・ 布を引っ張っていませんか？ ・ 糸がからまっていませんか？	32 21 22 23
縫い目が とぶ	・ 上糸のかけかたは正しいですか？ ・ 針の取り付けかたは正しいですか？ ・ 針と糸、布の関係は正しいですか？ ・ 針が曲がっている可能性があります。	17 12 11 11
縫い目に 輪ができる	・ 上糸のかけかたは正しいですか？ ・ 上糸調節はしましたか？ ・ ボビンケースが正しくセットされていますか？ ・ 針の交換をしてください。 ・ 釜にキズがないか確認してください。	17 23 16 12 31
縫い目に しわがよる	・ 上糸のかけかたは正しいですか？ ・ 上糸調子が強すぎます。 ・ ボビンケースが正しくセットされていますか？ ・ 針と糸、布の関係は正しいですか？ ・ 針が古くなっていますか？	17 23 16 11 11
布の裏側が タオル地の ようになる (P23 参照)	・ 上糸のかけかたは正しいですか？ ・ 上糸調節ダイヤルの目盛りが“0”になっていませんか？ ・ 押えが下がっていますか？ ・ 釜や針板にキズがないか確認してください。	17 23 22 31,32

この項に記載されている項目以外の不調、または部品の交換、電気系統の故障の修理サービスは、38 ページのカatalogハウス「商品ご相談課」までお問い合わせください。

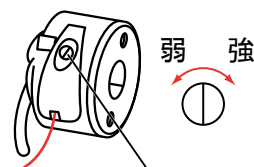
*** 不具合が出た場合は、もう一度取扱説明書の最初の手順からやり直してみてください。**

★上糸調節ダイヤルだけで糸調子が合わない場合は、ボビンケースの調節ねじで糸調子を調節することができますが、調節は非常に

繊細ですので、**慣れた方以外は行わないようにしてください。**

ボビンケースの糸調子の確認は 38 ページの「お客様相談係」までお問い合わせください。

★付属のドライバーで調節するときは 1/3 回転以上回さないでください。



下糸調節ネジ

別売りフットコントローラーの使いかた



注意



ケガや財産に損害を生じるおそれがあります。

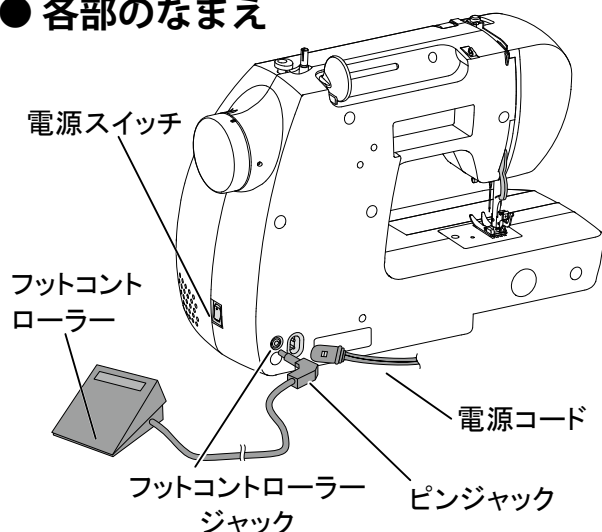


作業が終わったら、フットコントローラーピンジャックを抜く
フットコントローラーのピンジャックの取り扱いに注意してください。



フットコントローラーに物を載せない

● 各部のなまえ



★ミシン本体のスピード調節つまみでフットコントローラーでの最高速度が調節できます。

● 使いかた

- 【1】フットコントローラーのピンジャックをミシン本体のフットコントローラージャックに奥まで確実に差込みます。
- 【2】電源コードをミシンに接続し、電源スイッチを「入」にします。
- 【3】フットコントローラーを少しずつ踏み込んでいくと、スピードは「ゆっくり」から「速く」まで緩やかに変化します。
- 【4】また、このミシンにはフットコントローラーを「ポン」と叩くように踏むと針は『針上から針下へ』、『針下から針上へ』切り替わります。
- 【5】踏み込むのをやめるとミシンは電源投入時に選択した針位置で止まります。（通常は電源投入時が『針上』です）

ワンポイント
アドバイス

スピードがおそい…

▶ スピード調節つまみを「はやい」にする

つまみが「おそい」の位置にあるとフットコントローラーを踏み込んでもスピードが速くなりません。

ミシンが動かない…

▶ スタート / ストップボタンでは動きません

フットコントローラーを接続しているときは、スタート / ストップスイッチを押しても動きませんが故障ではありません。

● 専用フットコントローラーのお申込みはこちら

専用フットコントローラー（4C-333A 型）

価格 ¥3,500（税抜）

送料が別途かかります。

（株）カタログハウス お客様センター

〈無料通話〉0120-164-164 FAX 0120-709-567

（平日 午前 9:00～午後 7:00、土曜 午前 9:00～午後 6:00、日・祭日休み）

※ 表示価格は予告なく変更することがあります。

口座番号 00970-7-39524
加入者名 (株)アックスヤマザキ

■ご購入方法

日本郵便（JP）の払込取扱票用紙（青色）にお客様の氏名、住所、電話番号を明記し、通信欄にご使用のミシン型式（AG-005）と、ご希望部品のなまえ、部品価格と送料に消費税を加算し、下記口座までお振り込みください。お振込み確認後に発送いたします。

また、その他の部品もインターネットでご購入いただけます。詳しくは下記URLをご覧ください。

<http://www.axeyamazaki.co.jp/support/parts/index.html>

《払込取扱票記載方法》

■純正指定部品のお問い合わせ先

〒544-0022 大阪市生野区舍利寺3丁目12番5号

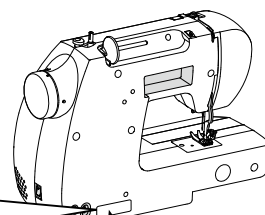
株式会社 アックスヤマザキ AG-005 部品購入係 行

〈無料通話〉0120-555-564

《お問い合わせ時間》

平日：午前 9:00 ～ 午後 12:00

午後 1:00 ～ 午後 5:00



定格表示プレート
(銀色シール)

ミシンの仕様

型式	AG-005	定格電圧	100V
寸法	幅 39 cm × 奥行 18 cm × 高さ 28 cm	消費電力	家庭用交流電源 55W
重量	5.5kg	周波数	50Hz/60Hz
釜形式	垂直半回転釜	回転数	60～700rpm
押え高さ	針板面から 6 mm / 最大 12 mm	専用電源コード	コード長さ 2m
使用ボビン	HA プラスチックボビン 高さ 11.5 mm : 直径 20.5 mm	専用別売り フットコントローラー	4C-333A

サービス工場のご案内

ご購入いただきましたミシンは、下記の工場で点検修理、交換等のサービスをいたします。尚、サービスには有償と無償の場合がありますので、38 ページにある「お客様相談係」にお問い合わせの上、サービス工場にご送付ください。

*ご送付のときは、このミシンの箱と緩衝材に収納してください。

送付先 〒544-0022 大阪市生野区舍利寺3丁目12番5号

株式会社 アックスヤマザキ サービス係 行

TEL 06-6717-5851 (平日 午前 9:00 ～ 12:00 ; 午後 1:00 ～ 5:00 ; 土・日・祭日休み)

■修理サービスのご相談

- 1.このミシンのご購入者には、カタログハウスが5年間無料保証します。
内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 2.修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則として、カタログハウスが承りますのでご相談ください。
- 3.修理サービスについてお問い合わせやご不審のある場合は、カタログハウスにお申しつけください。

■無料修理保障期間後の修理サービス

- 1.取扱説明書に基づいて、正しいご使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、カタログハウスを通じて有料で修理サービスいたします。
ただし、次に該当する場合は、カタログハウスにご相談ください。
イ.保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
ロ.浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
ハ.ご購入後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
ニ.カタログハウスまたはアックスヤマザキの指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。
- 2.長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によって元通りに修復できないことがあります。
- 3.有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、輸送費および技術料金の合計額となります。

●修理サービスについてお問い合わせ

商品ご相談課

〈無料通話〉 **0120-701-567** FAX **0120-709-567**

(平日午前 9:00 ~ 午後 7:00、土曜午前 9:00 ~ 午後 6:00、日・祭日休み)

株式会社 **カタログハウス**
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-12-2

●使いかたや部品についてのお問い合わせ

お客様相談係

(東日本地区にお住まいの方はこちら)

〈無料通話〉 **0120-200-600**

(午前 10:00 ~ 午後 6:00、土・日休み)

石田株式会社

〒166-0002

東京都杉並区高円寺北2丁目37番10号

お客様相談係

(西日本地区にお住まいの方はこちら)

〈無料通話〉 **0120-555-564**

(午前 9:00 ~ 12:00、午後 1:00 ~ 5:00、土・日・祭日休み)

株式会社 **アックス ヤマザキ**

〒544-0022

大阪市生野区舍利寺3丁目12番5号

ミシン保証書

形式	AG-005	※お買い上げ日	保証期間
機械番号		年 月 日	お買い上げ日より 本体 3ヶ年
※ お客様	ご住所	〒 TEL 様方	
	フリガナ お名前	様	
販売店	店 名		
	住 所		

※印欄は必ず記録
をご確認してくだ
さい。記録がない
場合には、ただ
ちに買い上げの
販売店にお申し
出ください。本
書は再発行は
できないので大
切に保管してく
ださい。

本書は、本記載内容で保証期間を設定させていただき、無料修理をお約束するものです。

- お客様の取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きによる正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご持参・ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理をさせていただきます。
- なお、保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な場合はお買い上げの販売店または直接下記へご相談ください。
- 次のような場合は、保証期間内でも有料になります。
 - ご使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の、落下や運送上の故障および損傷。
 - 火災・塩害・ガス害・地震・風水害・落雷・異常電圧およびその他の天災地変による故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお客様名・お買い上げ日・販売店名の記入のない場合または書きかえられた場合。
 - 一般家庭用以外（業務用など）にご使用での故障および損傷。
 - ご使用後の傷・変色・汚れおよび保管上の不備による損傷。
 - 消耗部品の交換。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理を依頼できない場合には、直接下記へご相談ください。

修理メモ

※この保証書は、本書によって明示した期間・条件のもとに無料修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
なお、ご不明の場合は、お買い上げの販売店または直接下記へ、お問い合わせください。

【製造元】

 株式会社 アックス ヤマザキ

〒544-0022 大阪市生野区舍利寺3丁目12番5号
TEL (06)6717-5851/FAX (06)6741-7875